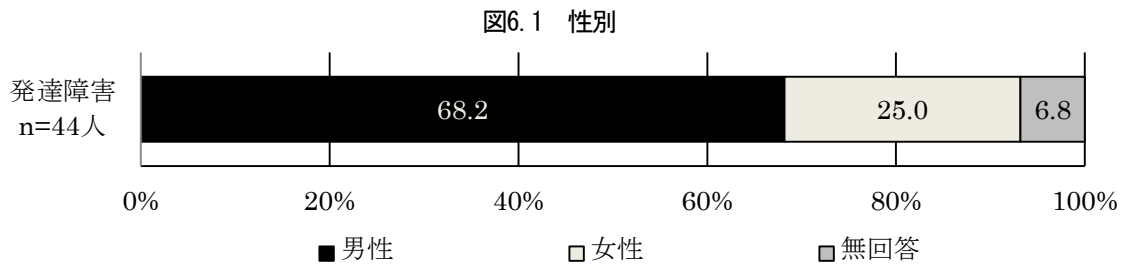


第6章 アスペ・エルデの会等に入会されている方に関する調査結果

1 発達障害のあるご本人について

問1 ご本人の性別はどちらですか。(〇は1つだけ)

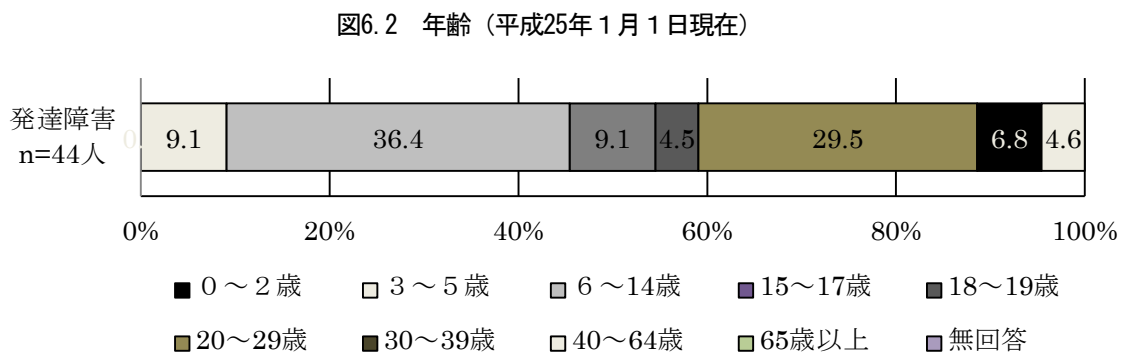
性別では、「男性」が68.2%、「女性」が25.0%となっています。



問2 ご本人の年齢は、どこにあてはまりますか。(平成25年1月1日現在)

(〇は1つだけ)

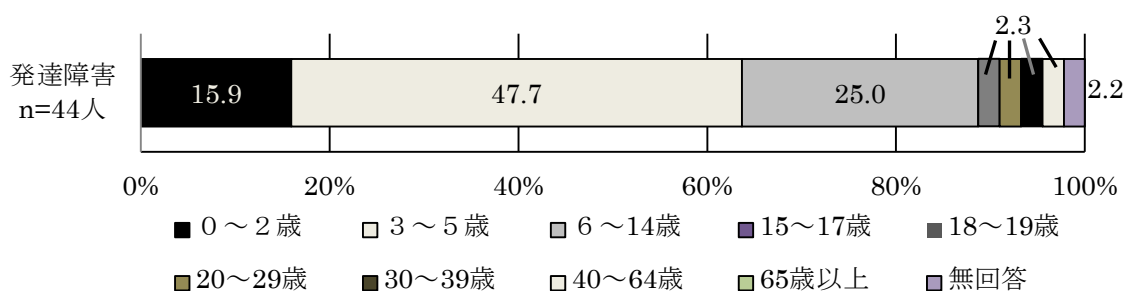
年齢(平成25年1月1日現在)では、「6～14歳」が36.4%、「20～29歳」が29.5%、「3～5歳」「15～17歳」が各9.1%となっています。



問3 あなたの障害が発生（判明）した時期は、どこにあてはまりますか。（○は1つだけ）

障害発生時期では、「3～5歳」が47.7%、「6～14歳」が25.0%、「0～2歳」が15.9%となっています。

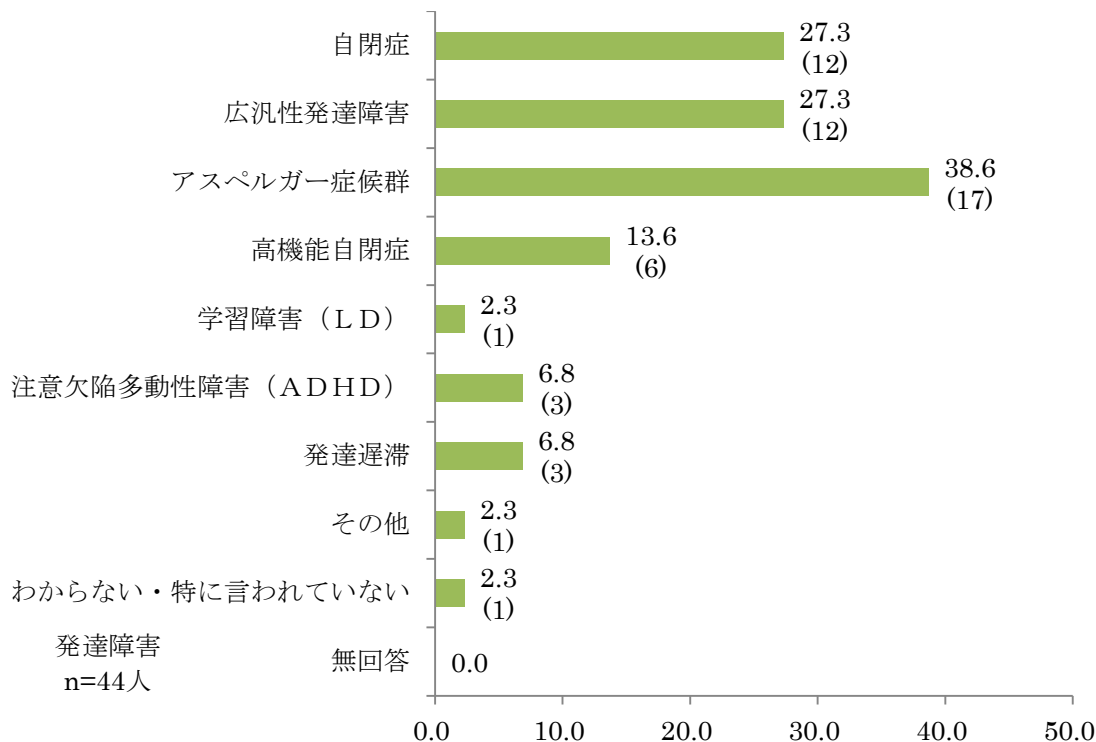
図6.3 障害発生時期



問4 あなたの障害名（診断名）は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

障害名では、「アスペルガー症候群」が38.6%、「自閉症」「広汎性発達障害」が各27.3%、「高機能自閉症」が13.6%となっています。

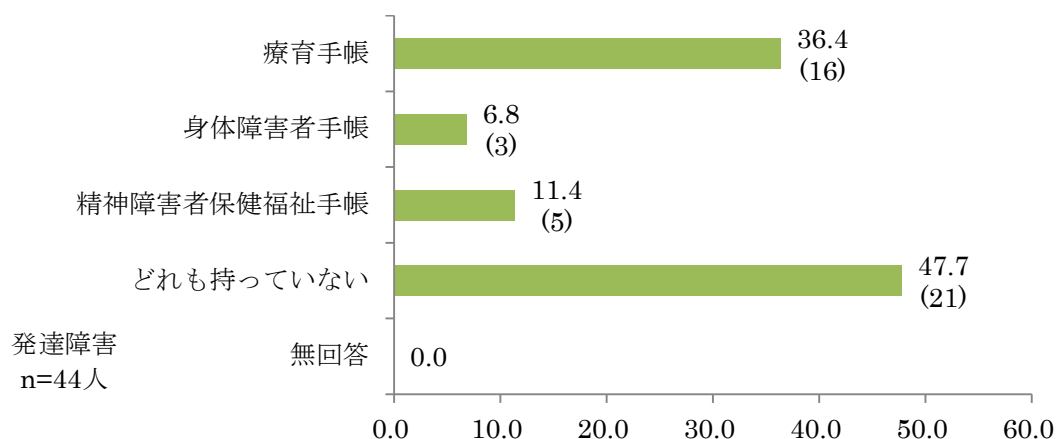
図6.4 障害名



問5 障害者手帳はお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

手帳の種類では、「どれも持っていない」が47.7%、「療育手帳」が36.4%、「精神障害者保健福祉手帳」が11.4%、「身体障害者手帳」6.8%となっています。

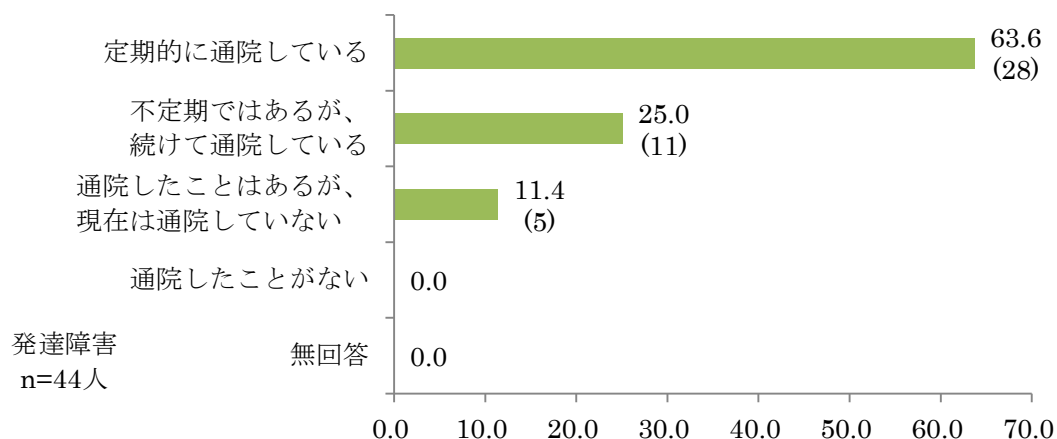
図6.5 手帳の種類



問6 お子さん（ご本人）の発達に関係することで、病院・診療所に通院したことがありますか。
(○は1つだけ)

病院・診療所への通院では、「定期的に通院している」が63.6%、「不定期ではあるが、続けて通院している」が25.0%、「通院したことはあるが、現在は通院していない」が11.4%となっています。

図6.6 病院・診療所への通院

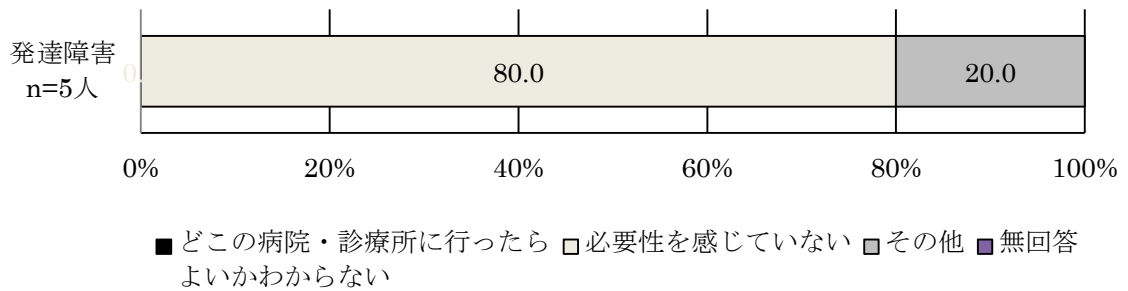


問7 問6で「3・4」に○をつけた方にお聞きします。

通院していない理由は何ですか。(○は1つだけ)

通院していない理由では、「必要性を感じていない」が80.0%となっています。

図6.7 通院していない理由

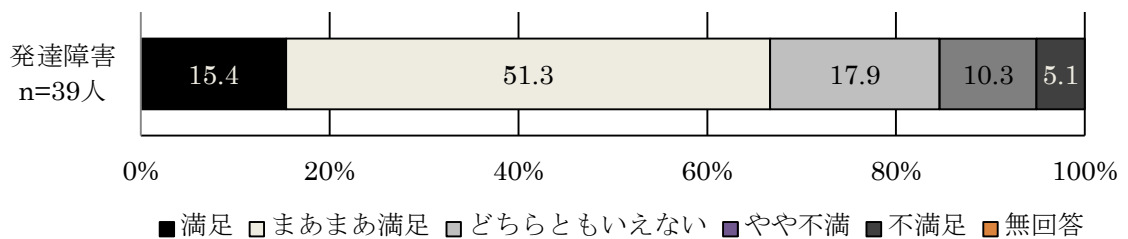


問8 問6で「1・2」に○をつけた方にお聞きします。

現在利用している病院・診療所に対する満足度はどれですか。(○は1つだけ)

病院・診療所に対する満足度では、「まあまあ満足」が51.3%、「どちらともいえない」が17.9%、「満足」が15.4%となっています。

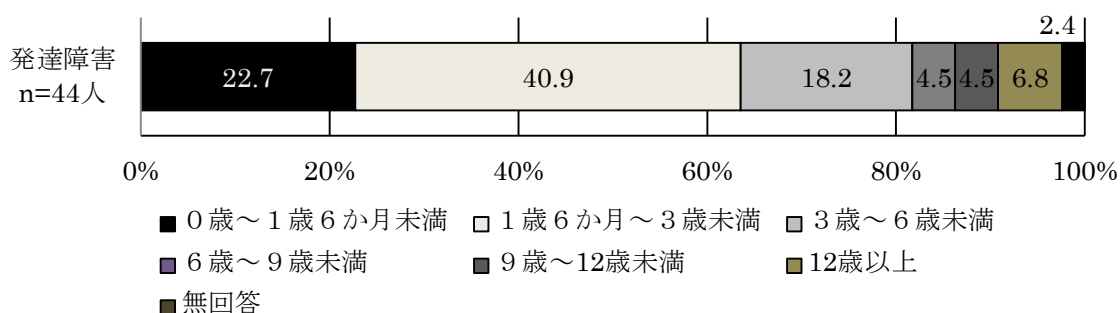
図6.8 病院・診療所に対する満足度



問9 最初に発達について心配を感じたときはいつでしたか。(〇は1つだけ)

最初に発達について心配を感じた歳では、「1歳6か月～3歳未満」が40.9%、「0歳～1歳6か月未満」が22.7%、「3歳～6歳未満」が18.2%となっています。

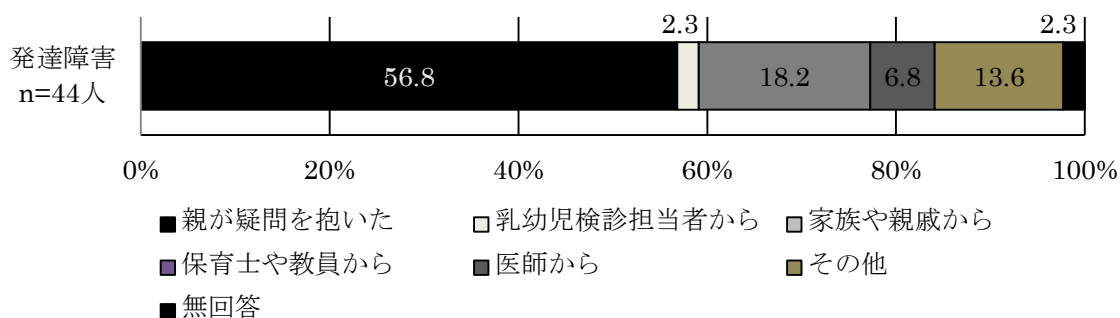
図6.9 最初に発達について心配を感じた歳



問10 発達について心配を感じた最初のきっかけは何ですか。(〇は1つだけ)

発達について心配を感じた最初のきっかけでは、「親が疑問を抱いた」が56.8%、「保育士や教員から」が18.2%、「医師から」が6.8%となっています。

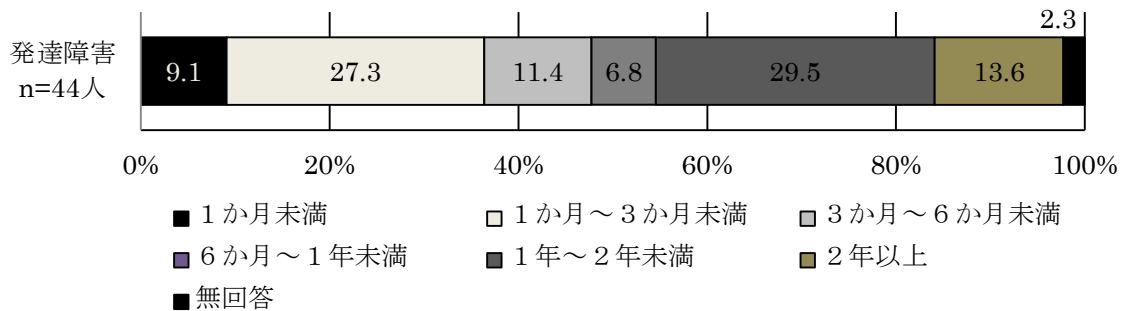
図6.10 発達について心配を感じた最初のきっかけ



問 11 最初に発達について心配を感じてから、病院・診療所を受診するまでにどのくらいかかりましたか。(○は1つだけ)

病院・診療所を受診するまでにかかった期間では、「1年～2年未満」が29.5%、「1か月～3か月未満」が27.3%、「2年以上」が13.6%となっています。

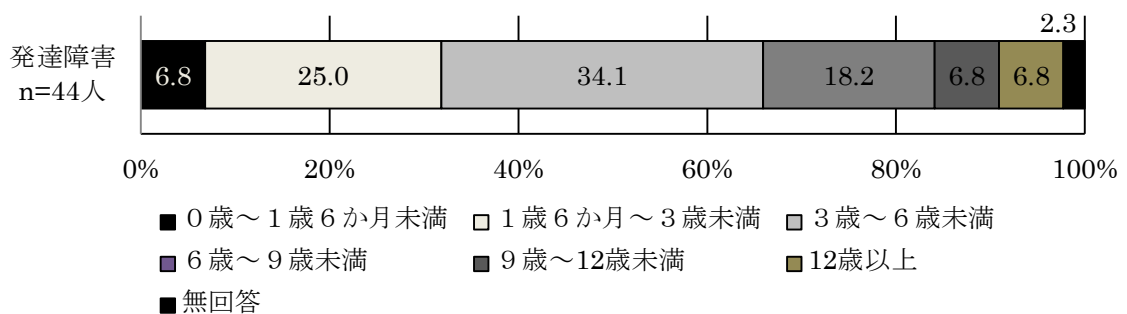
図6.11 病院・診療所を受診するまでにかかった期間



問 12 病院・診療所を受診したときの、お子さん（ご本人）の年齢はどこにあてはまりますか。(○は1つだけ)

病院・診療所を受診したときの年齢では、「3歳～6歳未満」が34.1%、「1歳6か月～3歳未満」が25.0%、「6歳～9歳未満」が18.2%となっています。

図6.12 病院・診療所を受診したときの年齢

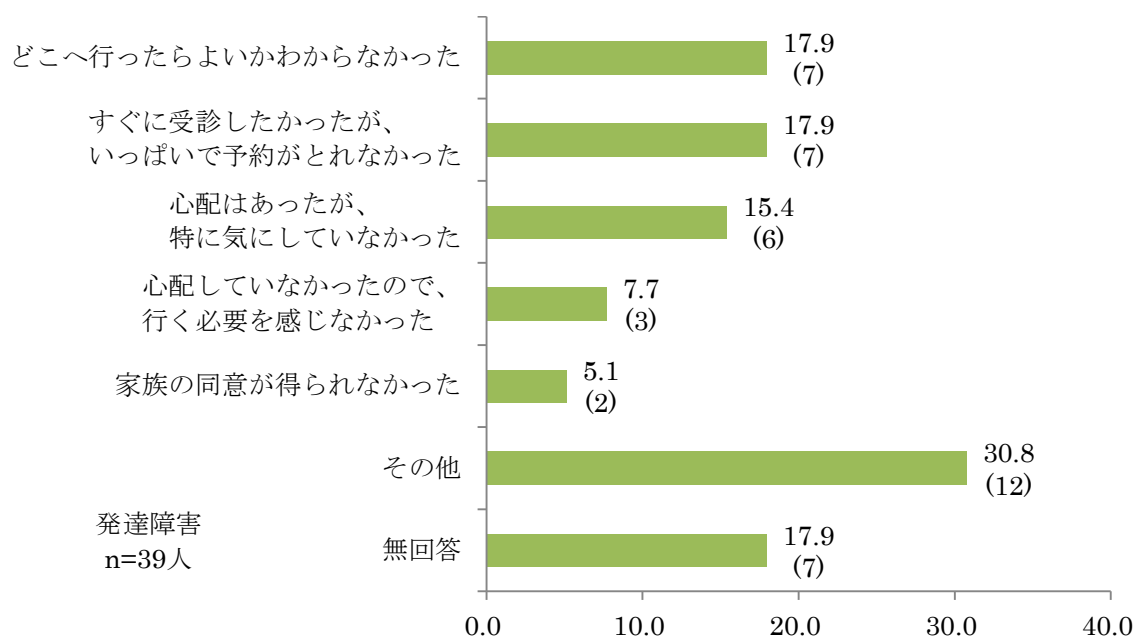


問13 問11で「2～6」に○をつけられた方にお聞きします。

病院・診療所を受診するまでに、時間がかかった理由は何ですか。(○は1つだけ)

病院・診療所を受診するまでに、時間がかかった理由では、「どこへ行ったらよいかわからなかった」「すぐに受診したかったが、いっぱい予約がとれなかった」が各17.9%、「心配はあったが、特に気にしていなかった」が15.4%となっています。

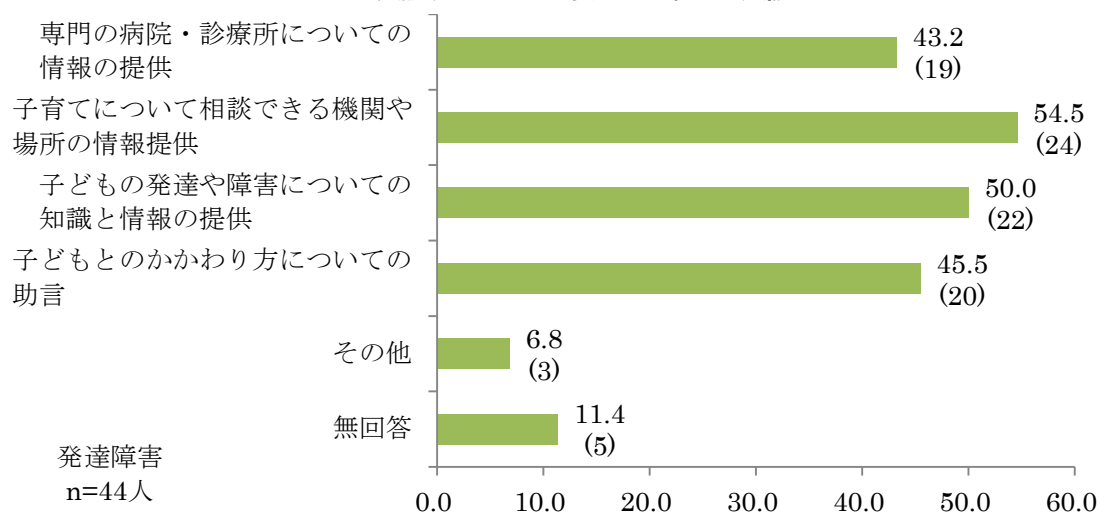
図6.13 病院・診療所を受診するまでに、時間がかかった理由



問 14 発達について心配を感じてから受診するまでの間に、特に必要だと思われる支援は何ですか。(〇は3つまで)

受診するまでに必要だと思われる支援では、「子育てについて相談できる機関や場所の情報提供」が54.5%、「子どもの発達や障害についての知識と情報の提供」が50.0%、「子どもとのかかわり方についての助言」が45.5%となっています。

図6.14 受診するまでに必要だと思われる支援

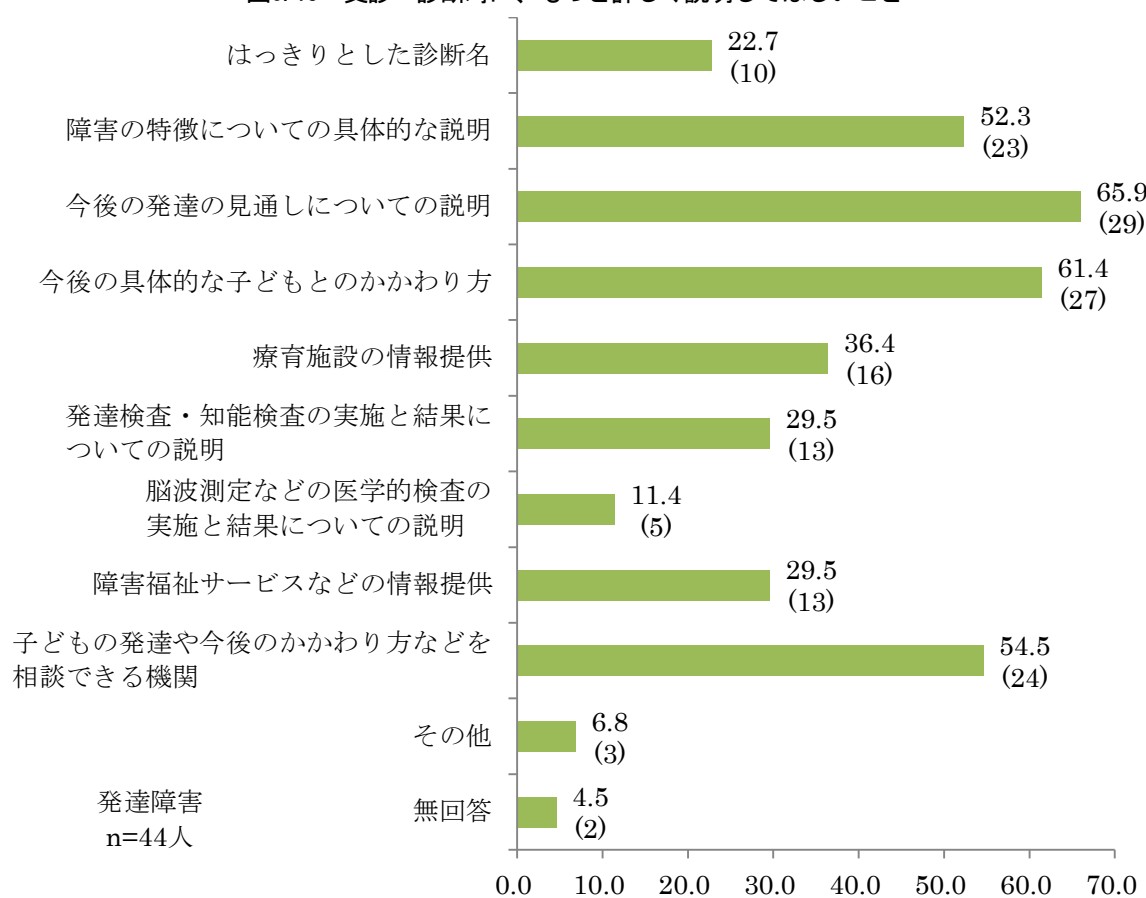


問15 受診・診断時に、もっと詳しく説明してほしいことは何でしたか。

(あてはまるものすべてに○)

受診・診断時に、もっと詳しく説明してほしいことでは、「今後の発達の見通しについての説明」が65.9%、「今後の具体的な子どもとのかかわり方」が61.4%、「子どもの発達や今後のかかわり方などを相談できる機関」が54.5%となっています。

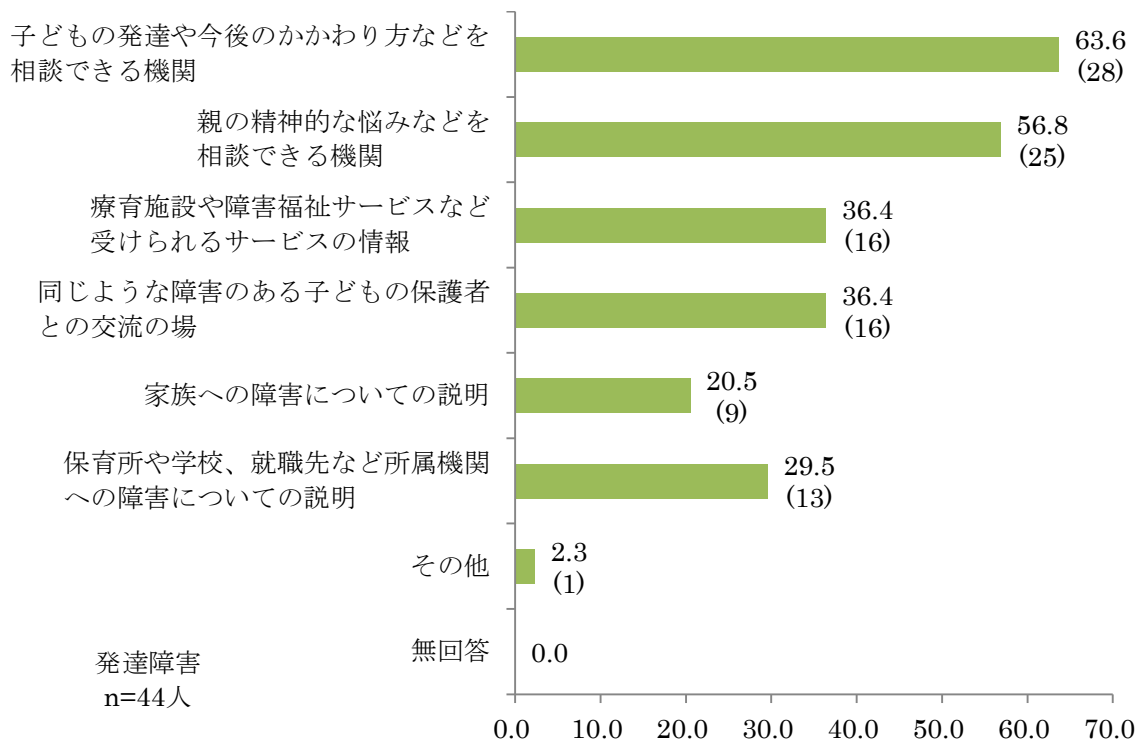
図6.15 受診・診断時に、もっと詳しく説明してほしいこと



問 16 受診・診断後の支援として、特に必要だと思われるものは何ですか。(〇は3つまで)

受診・診断後の支援では、「子どもの発達や今後のかかわり方などを相談できる機関」が63.6%、「親の精神的な悩みなどを相談できる機関」が56.8%、「療育施設や障害福祉サービスなどを受けられるサービスの情報」「同じような障害のある子どもの保護者との交流の場」が各36.4%となっています。

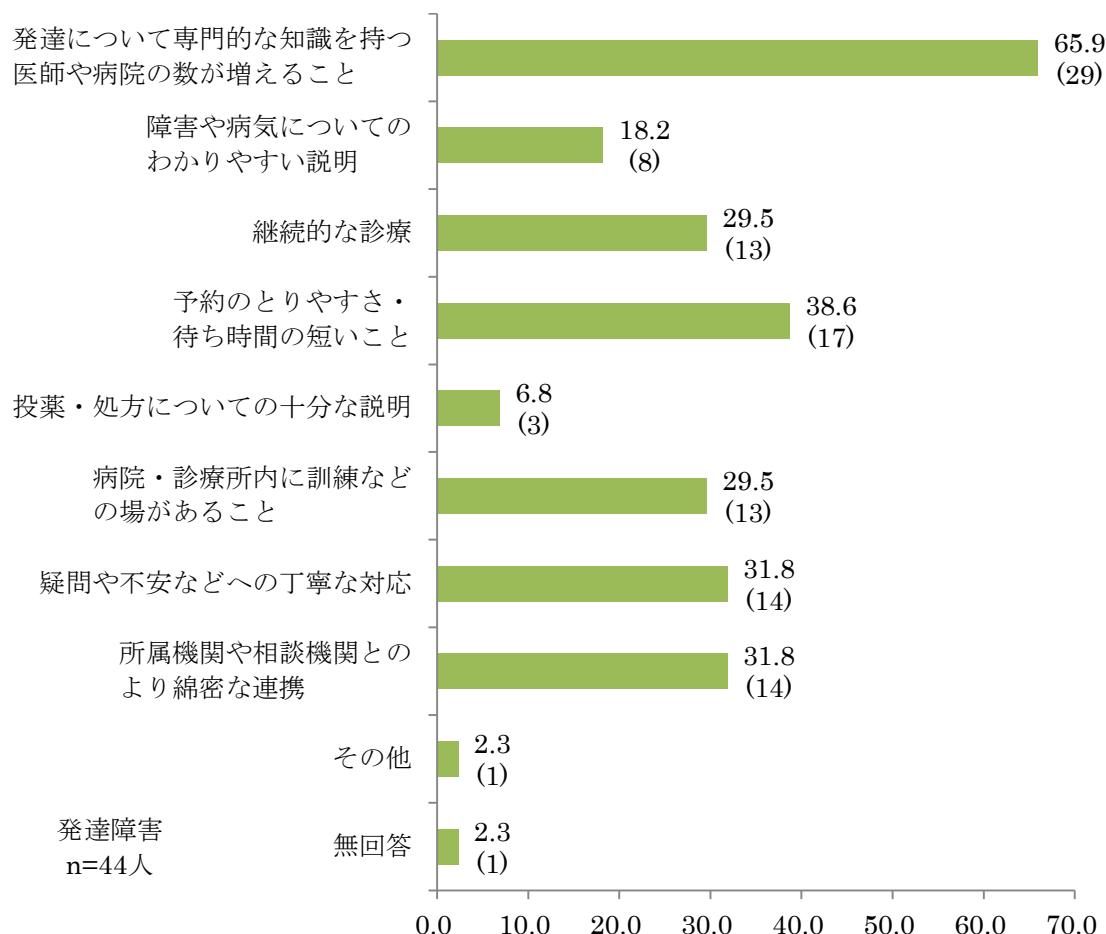
図6.16 受診・診断後の支援



問 17 今後、病院・診療所に期待することは何ですか。(〇は3つまで)

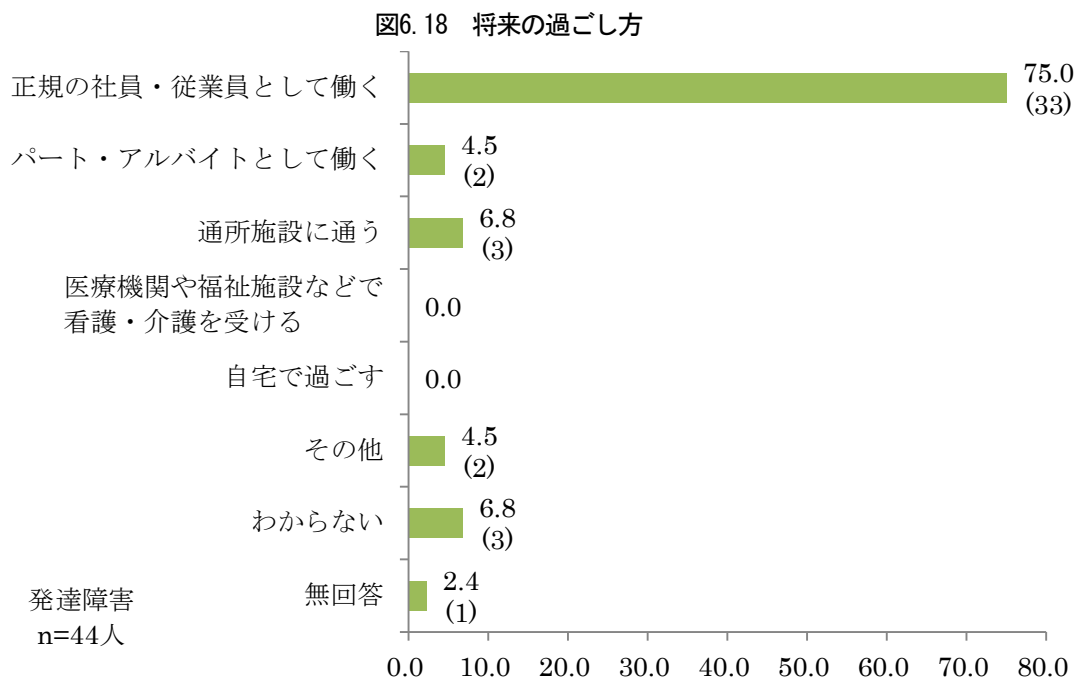
病院・診療所に期待することでは、「発達について専門的な知識を持つ医師や病院の数が増えること」が65.9%、「予約のとりやすさ・待ち時間の短いこと」が38.6%、「疑問や不安などへの丁寧な対応」「所属機関や相談機関とのより綿密な連携」が各31.8%となっています。

図6.17 病院・診療所に期待すること



問 18 将来、どのように過ごしたいと思いますか。(〇は1つだけ)

将来の過ごし方では、「正規の社員・従業員として働く」が75.0%、「通所施設に通う」「わからない」が各6.8%、「パート・アルバイトとして働く」が4.5%となっています。

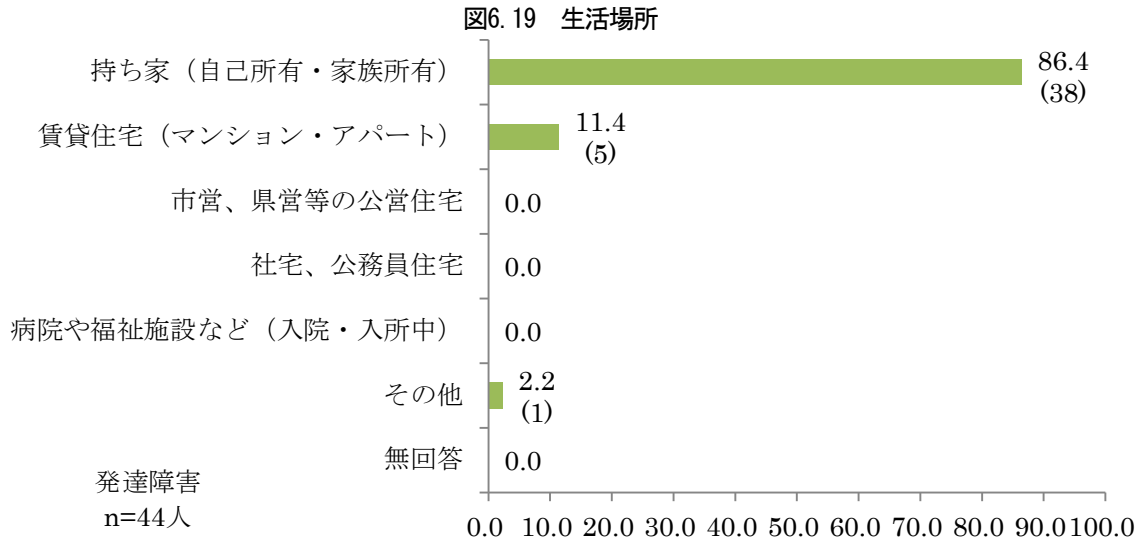


※ 通所施設：就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型、生活介護、地域活動支援センター

2 生活状況について

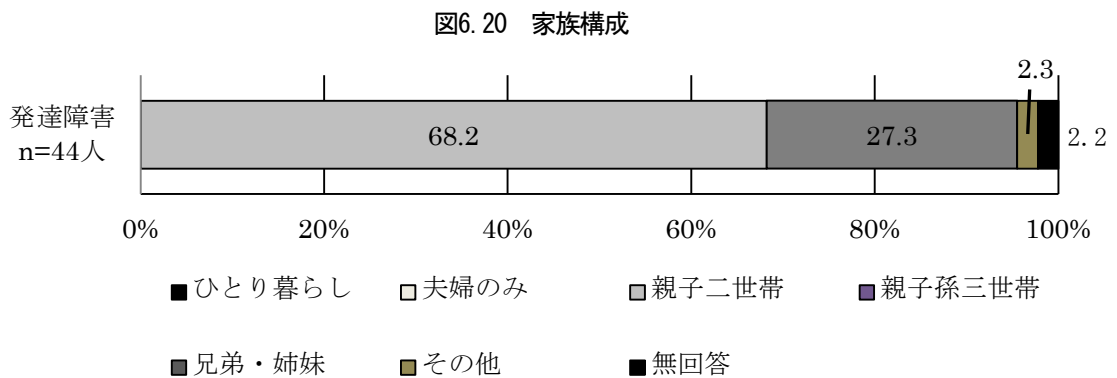
問19 あなたは、どちらで生活していますか。(〇は1つだけ)

生活場所では、「持ち家（自己所有・家族所有）」が86.4%、「賃貸住宅（マンション・アパートなど）」が11.4%となっています。



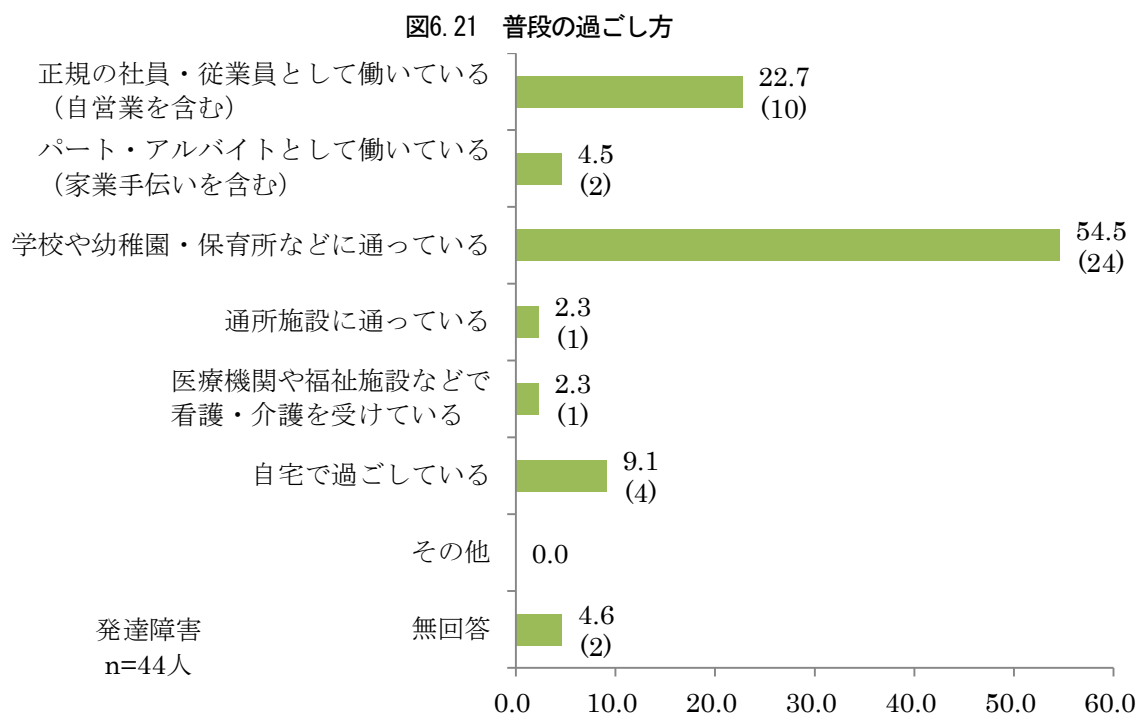
問20 あなたの家族構成は、どれですか。(〇は1つだけ)

家族構成では、「親子二世帯」が68.2%、「親子孫三世帯」が27.3%となっています。



問 21 あなたは、普段、主にどこで何をして過ごしていますか。(〇は1つだけ)

普段の過ごし方では、「学校や幼稚園・保育所などに通っている」が54.5%、「正規の社員・従業員として働いている」が22.7%、「自宅で過ごしている」が9.1%となっています。

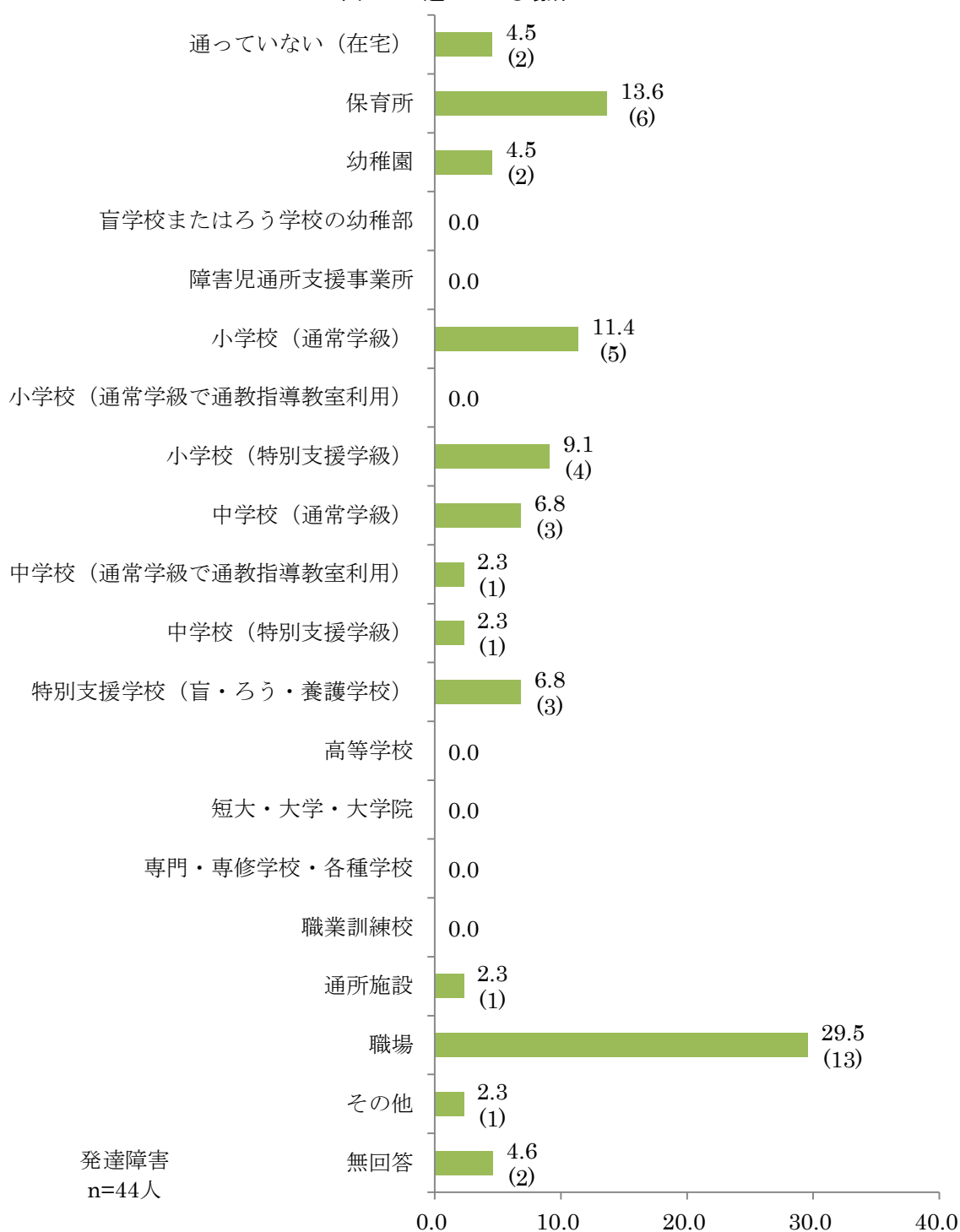


※ 通所施設：就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型、生活介護、地域活動支援センター

問22 現在、主に通っている場所は、どこですか。(〇は1つだけ)

通っている場所では、「職場」が29.5%、「保育所」が13.6%、「小学校（通常学級）」が11.4%、「小学校（特別支援学級）」が9.1%、「中学校（通常学級）」「特別支援学校（盲・ろう・養護学校）」が各6.8%となっています。

図6.22 通っている場所

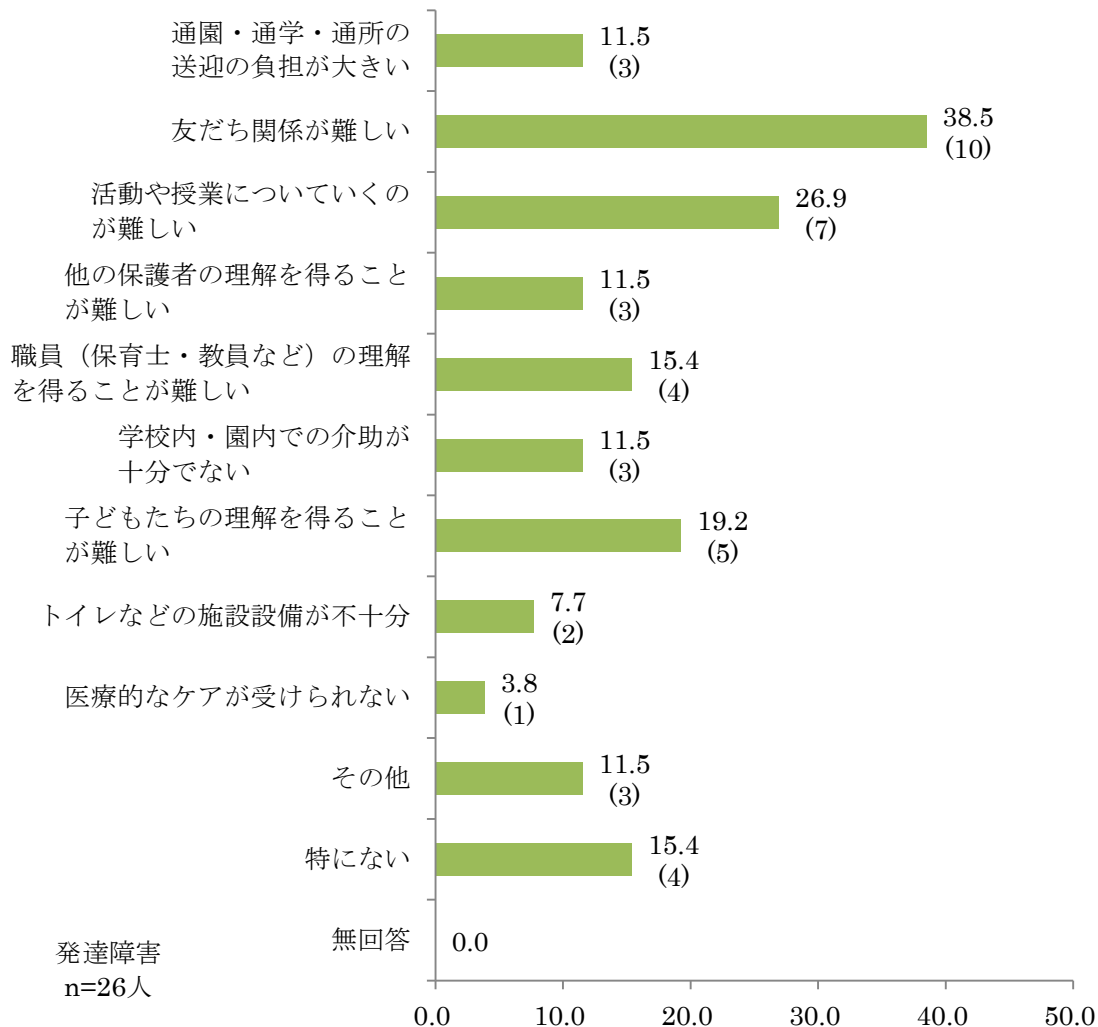


問 23 問 22 で「2～17」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。

通園・通学・通所して、特に困っていることがありますか。(○は3つまで)

通園・通学・通所して特に困っていることでは、「友だち関係が難しい」が38.5%、「活動や授業についていくのが難しい」が26.9%、「子どもたちの理解を得ることが難しい」が19.2%、「職員の理解を得ることが難しい」「特にない」が各15.4%、「通園・通学・通所の送迎の負担が大きい」「他の保護者の理解を得ることが難しい」「学園内・園内での介助が十分でない」が各11.5%となっています。

図6.23 通園・通学・通所して特に困っていること

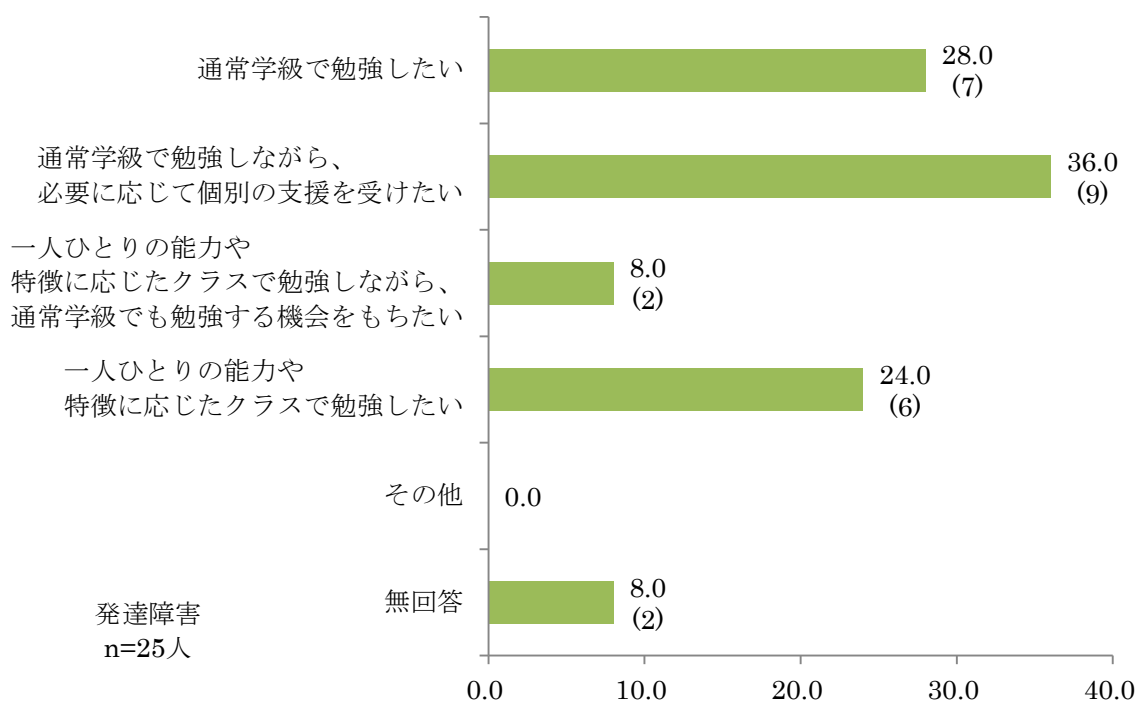


問24 問22で「2～12」のいずれかに○をつけた方にお聞きます。

学校で勉強するクラスは、どのような形を望みますか。(○は1つだけ)

学校で勉強するクラスに望む形では、「通常学級で勉強しながら、必要に応じて個別の支援を受けたい」が36.0%、「通常学級で勉強したい」が28.0%、「一人ひとりの能力や特徴に応じたクラスで勉強したい」が24.0%となっています。

図6.24 学校で勉強するクラスに望む形

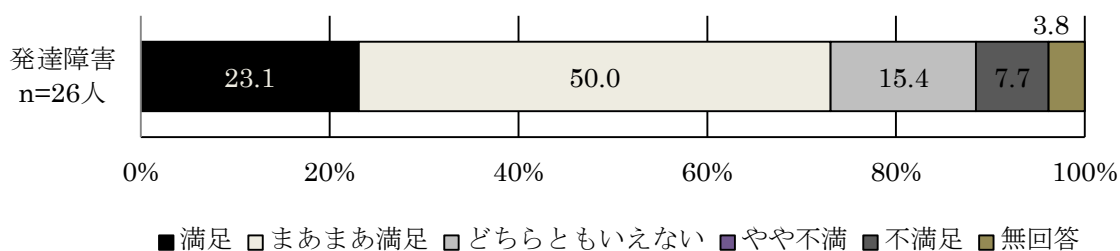


問25 問22で「2～17」のいずれかに○をつけた方にお聞きます。

現在通っている療育・保育・教育機関などに関する満足度はどれですか。(○は1つだけ)

現在通っている療育・保育・教育機関に関する満足度では、「まあまあ満足」が50.0%、「満足」が23.1%となっています。

図6.25 現在通っている療育・保育・教育機関に関する満足度



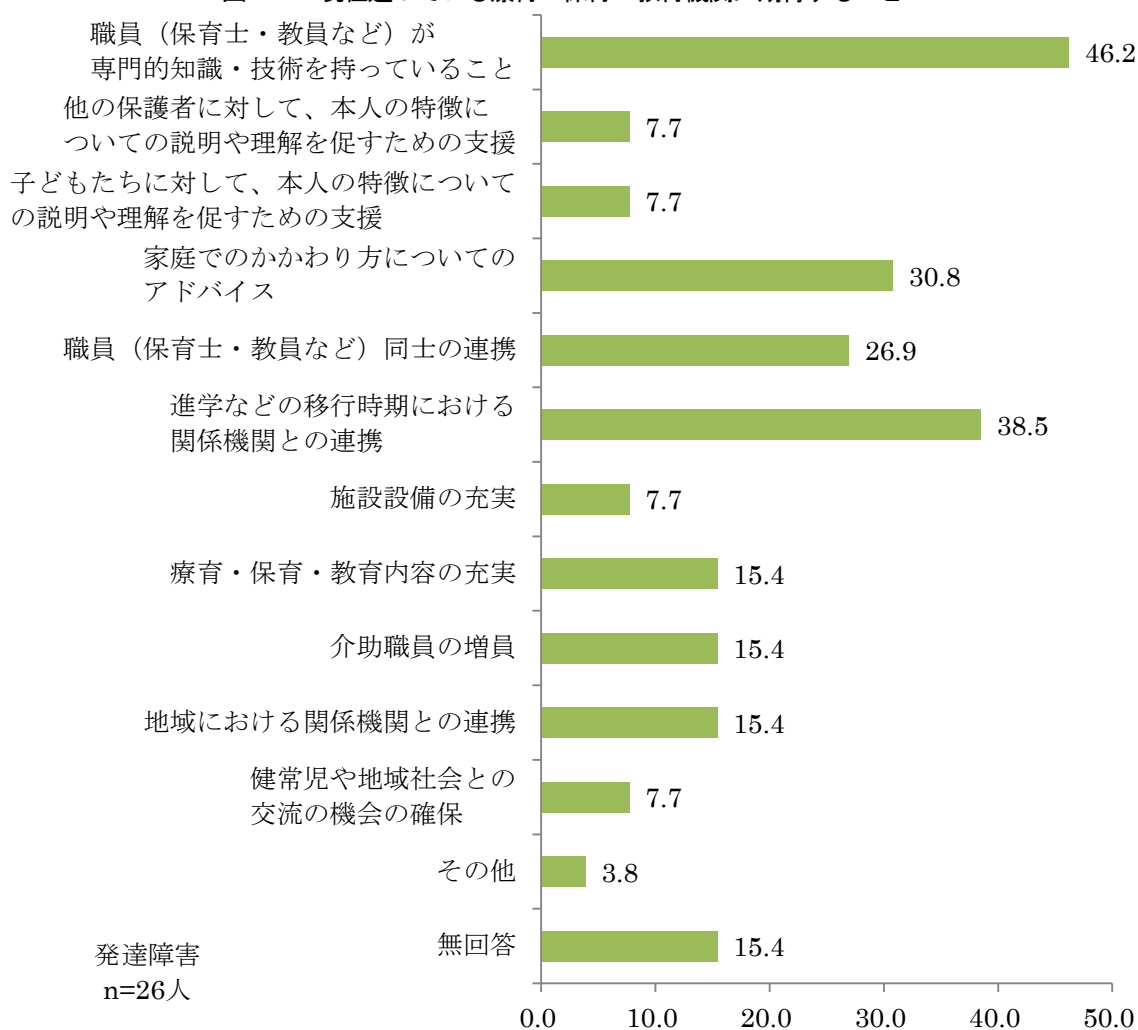
問 26 問 22 で「2～17」のいずれかに○をつけた方にお聞きます。

現在通っている療育・保育・教育機関などに期待することはどのようなことですか。

(○は3つまで)

現在通っている療育・保育・教育機関に期待することでは、「職員（保育士・教員など）が専門的知識・技術をもっていること」が46.2%、「進学などの移行時期における関係機関との連携」が38.5%、「家庭でのかかわり方についてのアドバイス」が30.8%、「職員同士の連携」が26.9%、「療育・保育・教育内容の充実」「介助職員の増員」「地域における関係機関との連携」が各15.4%となっています。

図6.26 現在通っている療育・保育・教育機関に期待すること

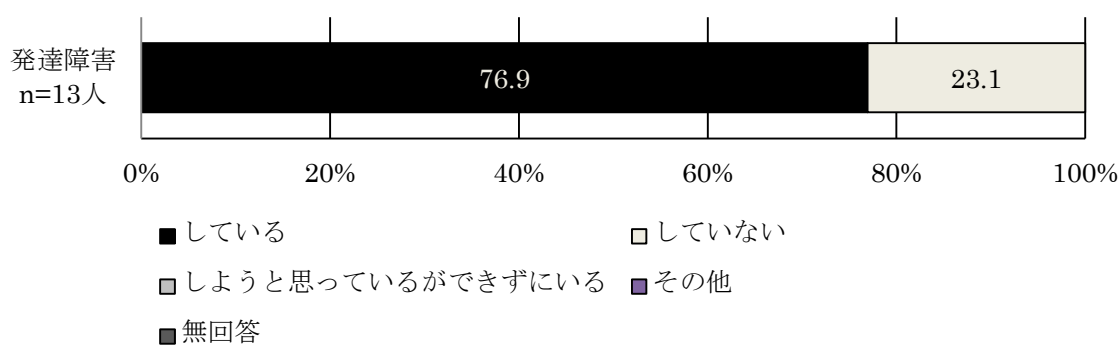


問27～問31までは、問22で「18」と答えた方にお聞きします。

問 27 あなたは、自分の病気や障害について、就労先に報告してありますか。

病気や障害についての就労先への報告では、「している」が76.9%、「していない」が23.1%となっています。

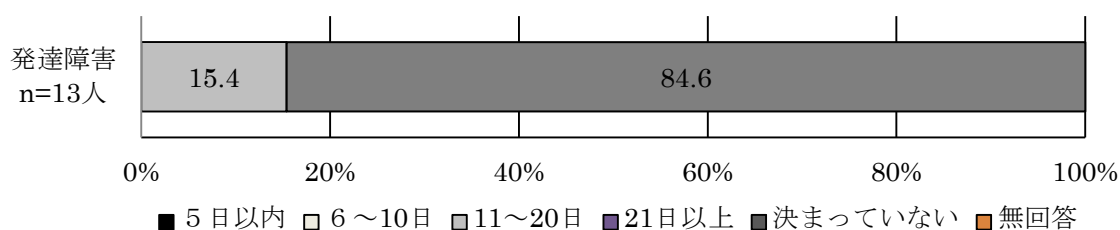
図6.27 病気や障害についての就労先への報告



問 28 あなたは、1か月に何日くらい働いていますか。(○は1つだけ)

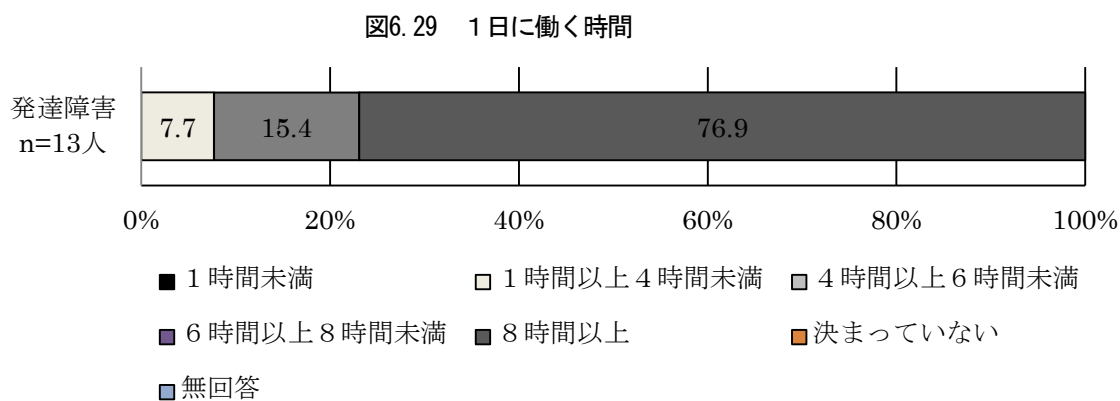
1か月に働く日数では、「21日以上」が84.6%、「11～20日」が15.4%となっています。

図6.28 1か月に働く日数



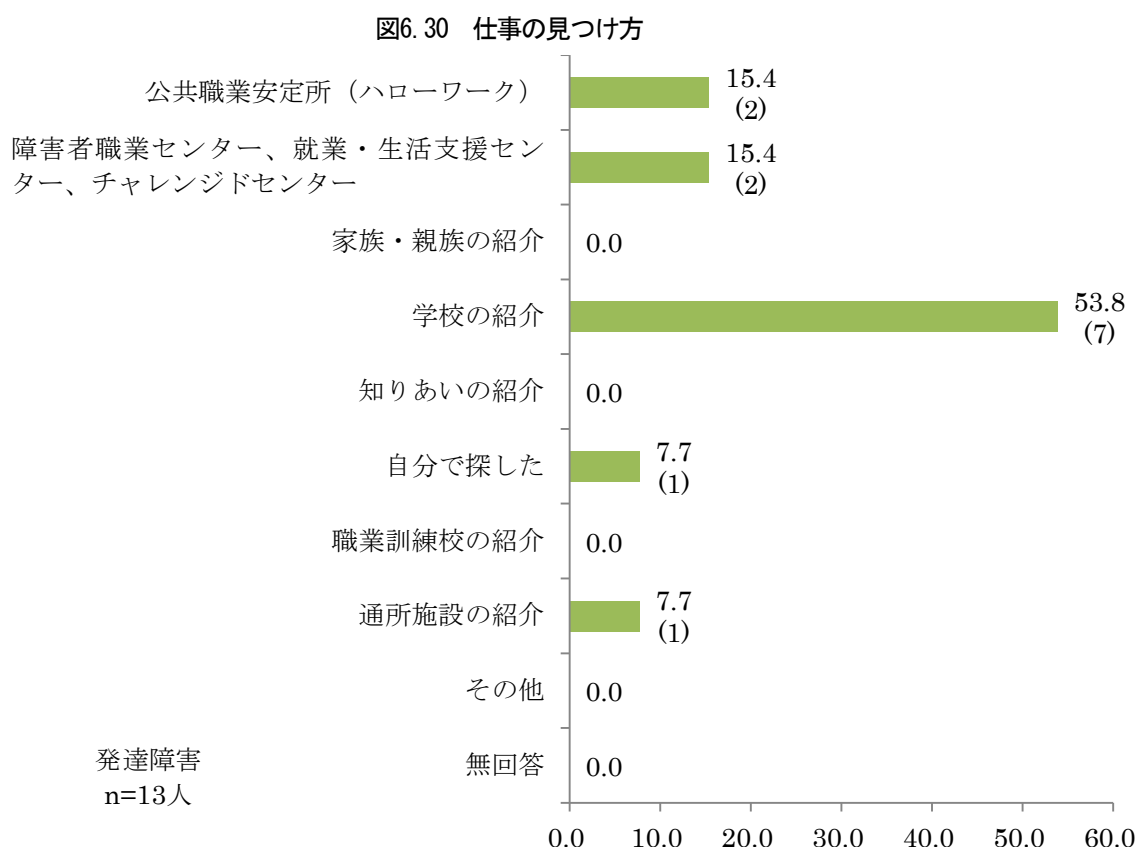
問 29 あなたは、1日に何時間くらい働いていますか。(○は1つだけ)

1日に働く時間では、「8時間以上」が76.9%、「6時間以上8時間未満」が15.4%、「1時間以上4時間未満」が7.7%となっています。



問30 あなたは、現在の仕事はどうやって見つけましたか。(〇は1つだけ)

仕事の見つけ方では、「学校の紹介」が53.8%、「ハローワーク」「障害者職業センター、就業・生活支援センター、チャレンジドセンター」が各15.4%、「自分で探した」「通所施設の紹介」が各7.7%となっています。

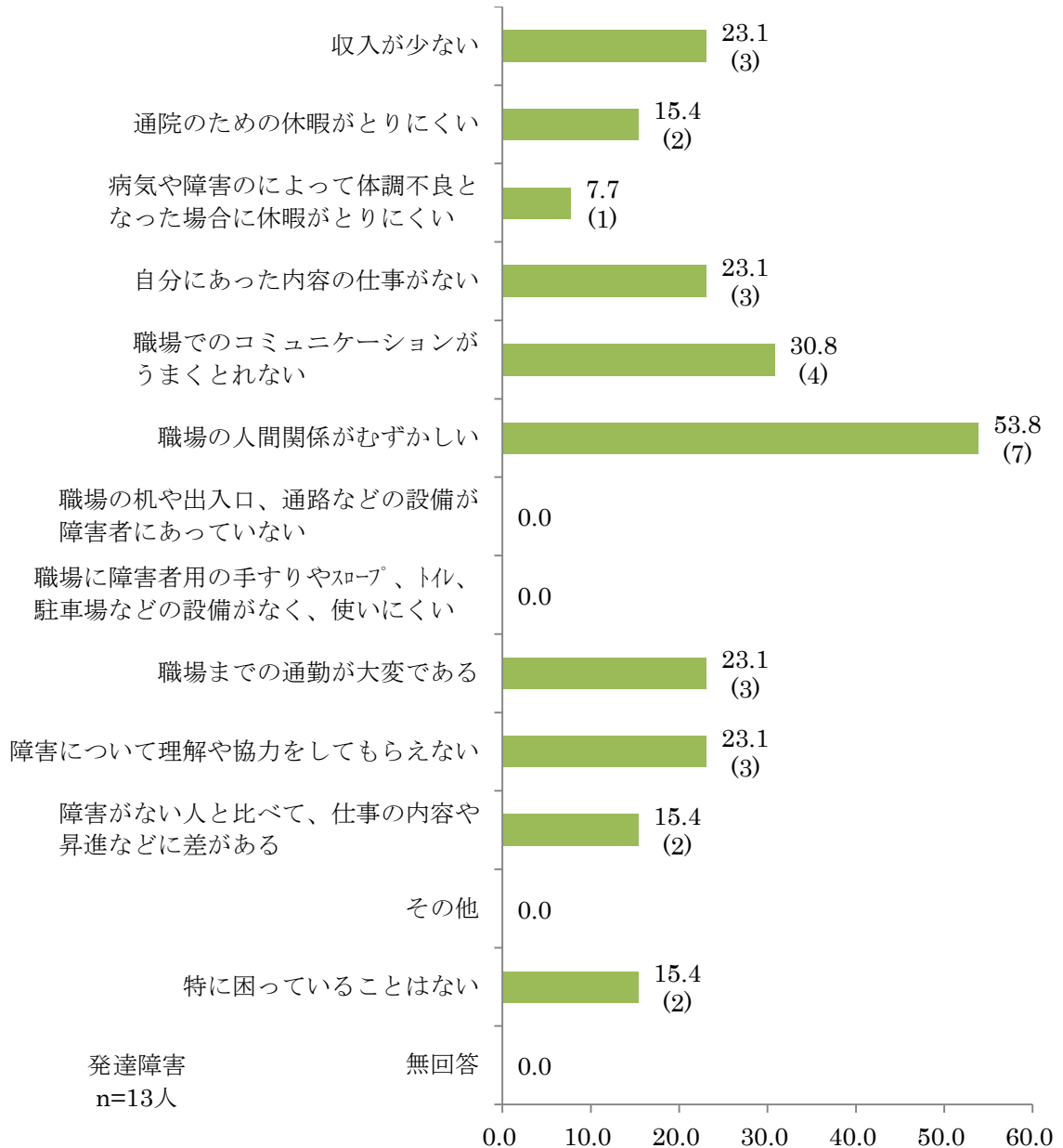


※ 通所施設：就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型、生活介護、地域活動支援センター

問 31 仕事のことで悩んでいることや困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

仕事の悩みでは、「職場の人間関係がむずかしい」53.8%、「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」が30.8%、「収入が少ない」「自分にあった内容の仕事がない」「職場までの通勤が大変である」「障害について理解や協力をしてもらえない」が各23.1%となっています。

図6.31 仕事の悩み

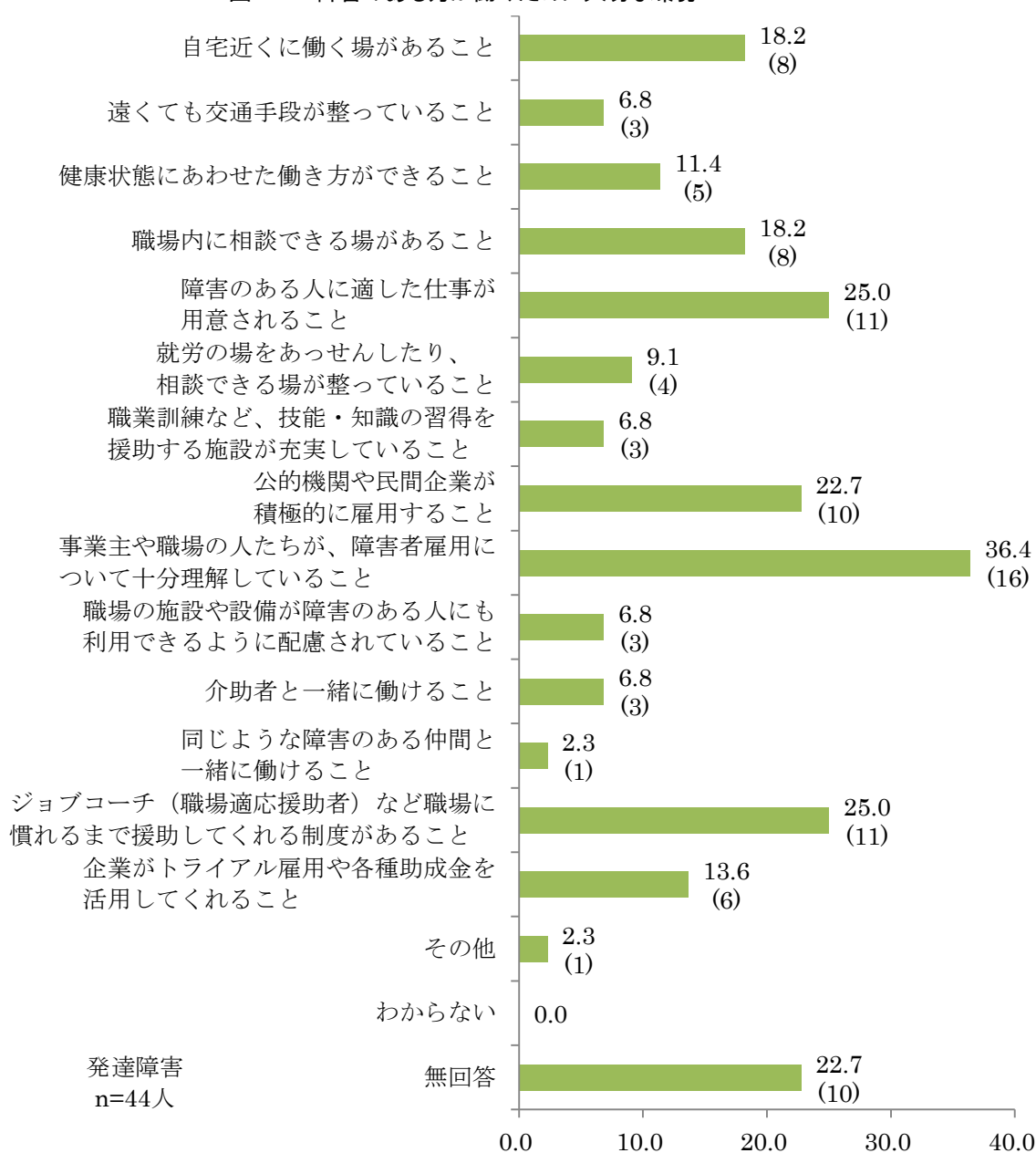


問 32 障害のある方が働くためには、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。

(〇は3つまで)

障害のある方が働くために大切な環境では、「事業主や職場の人たちが、障害者雇用について十分理解していること」が36.4%、「障害のある人に適した仕事を用意されること」「ジョブコーチ（職場適応援助者）など職場に慣れるまで援助してくれる制度があること」が各25.0%、「公的機関や民間企業が積極的に雇用すること」が22.7%、「自宅近くに働く場があること」「職場内に相談できる場があること」が各18.2%、「企業がトライアル雇用や各種助成金を活用してくれる制度があること」が13.6%となっています。

図6.32 障害のある方が働くために大切な環境



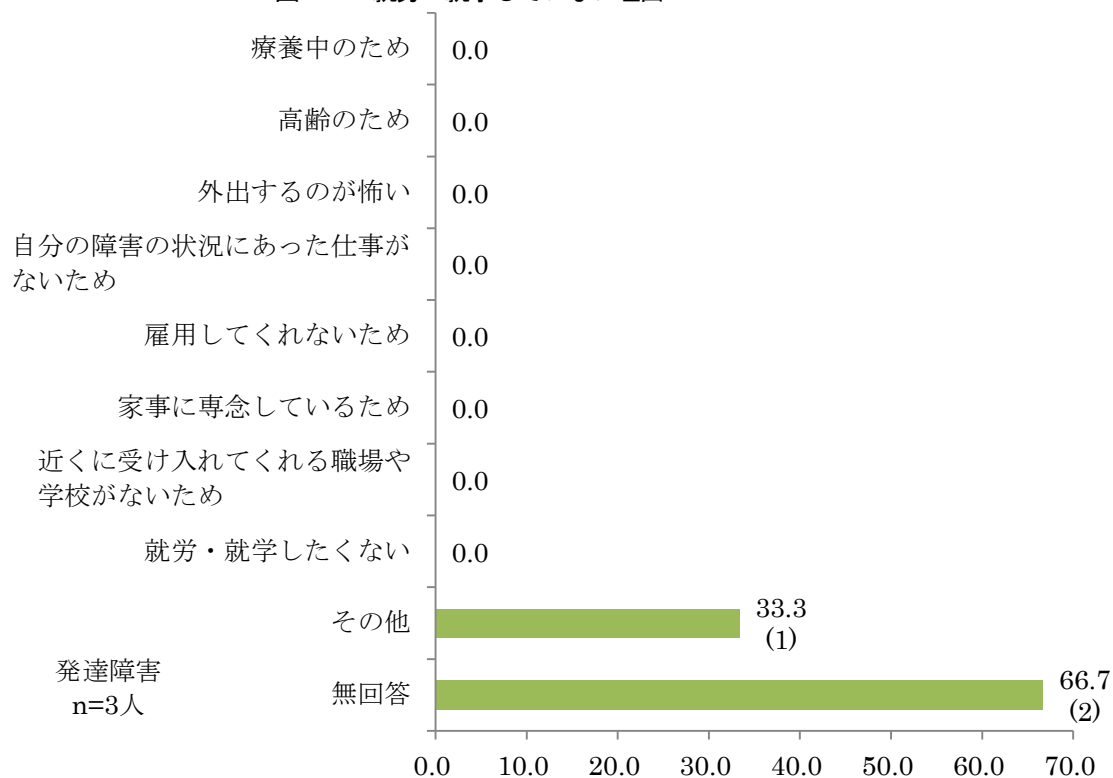
-
- ※ ジョブコーチ（職場適応援助者）は、障害のある方の働いている職場へ付き添い、職場の中で人間関係や労働習慣の習得、コミュニケーションの仲立ちなどをお手伝いし、一人で作業ができるまで手助けをする指導員のことです。また、事業所の方に対しても受入れ体制の整備などの助言を行います。
 - ※ トライアル雇用とは、公共職業安定所（ハローワーク）の紹介によって障害者求職者などを短期間の試用期間を設けて雇用し、企業側と求職者側が相互に適性を判断した後、両者が合意すれば本採用する制度。

問33は、問22で「1」または「19」と答えた方にお聞きします。

問 33 就労・就学していない理由は次のどれですか。(○は1つだけ)

該当者が少数の為、判定できません。

図6.33 就労・就学していない理由



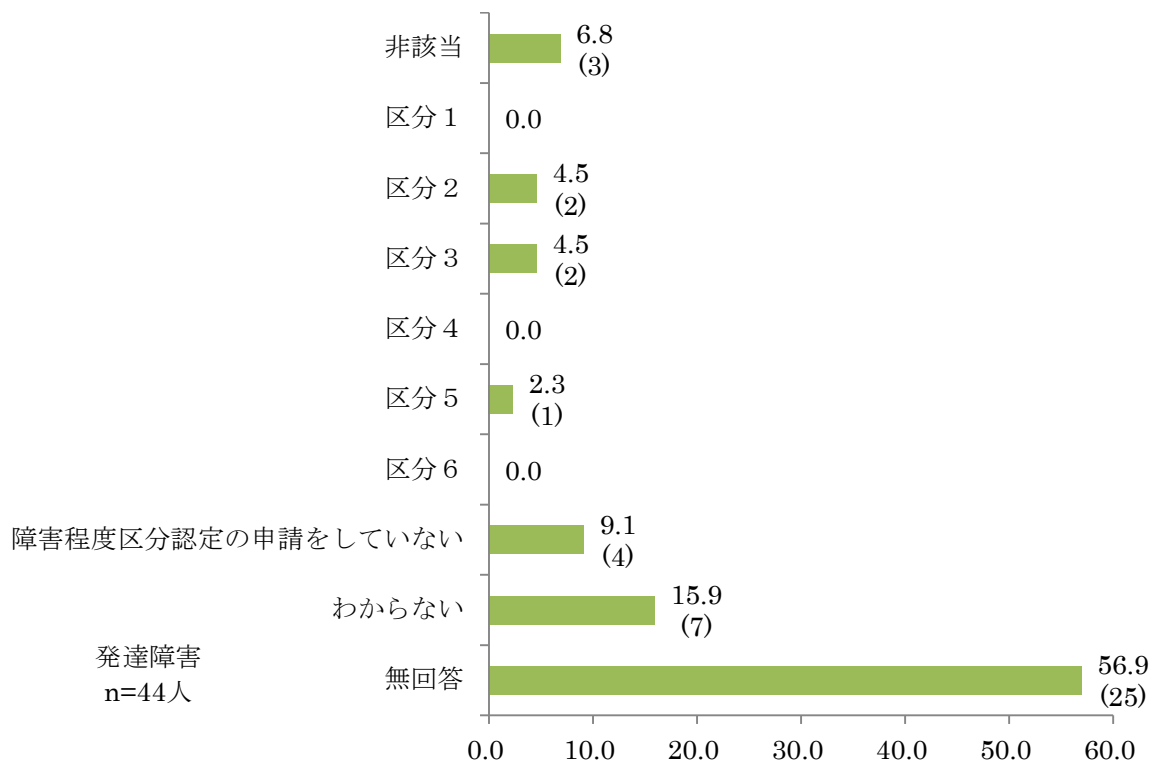
3 障害福祉サービスなどについて

問 34 年齢が18歳以上の方にお聞きします。

障害程度区分（介護給付のみ）は何ですか。（○は1つだけ）

障害程度区分では、「わからない」が15.9%、「障害程度区分認定の申請をしていない」が9.1%、「非該当」が6.8%、「区分2」「区分3」が各4.5%、「区分5」が2.3%となっています。

図6.34 障害程度区分



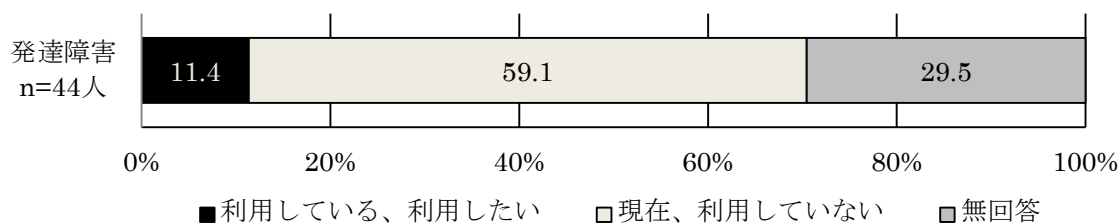
問 35 現在利用している、又は今後、利用したい福祉サービスの番号に○をつけてください。

利用したい場合は、希望する回数や日数も記入してください。

利用していない場合は「2」に○をつけてください。

障害福祉サービスの利用状況では、「現在、利用していない」が59.1%、「利用している、利用したい」が11.4%となっています。

図6.35.A 障害福祉サービスの利用状況



利用している、利用したい障害福祉サービスでは、「放課後等デイサービス」が11.4%、「障害者相談支援事業」が9.1%、「短期入所（ショートステイ）」「計画相談支援・障害児相談支援」「児童発達支援」「成年後見制度利用支援事業」「社会参加促進事業」が各6.8%となっています。

図6.35.B 利用している、利用したい障害福祉サービス

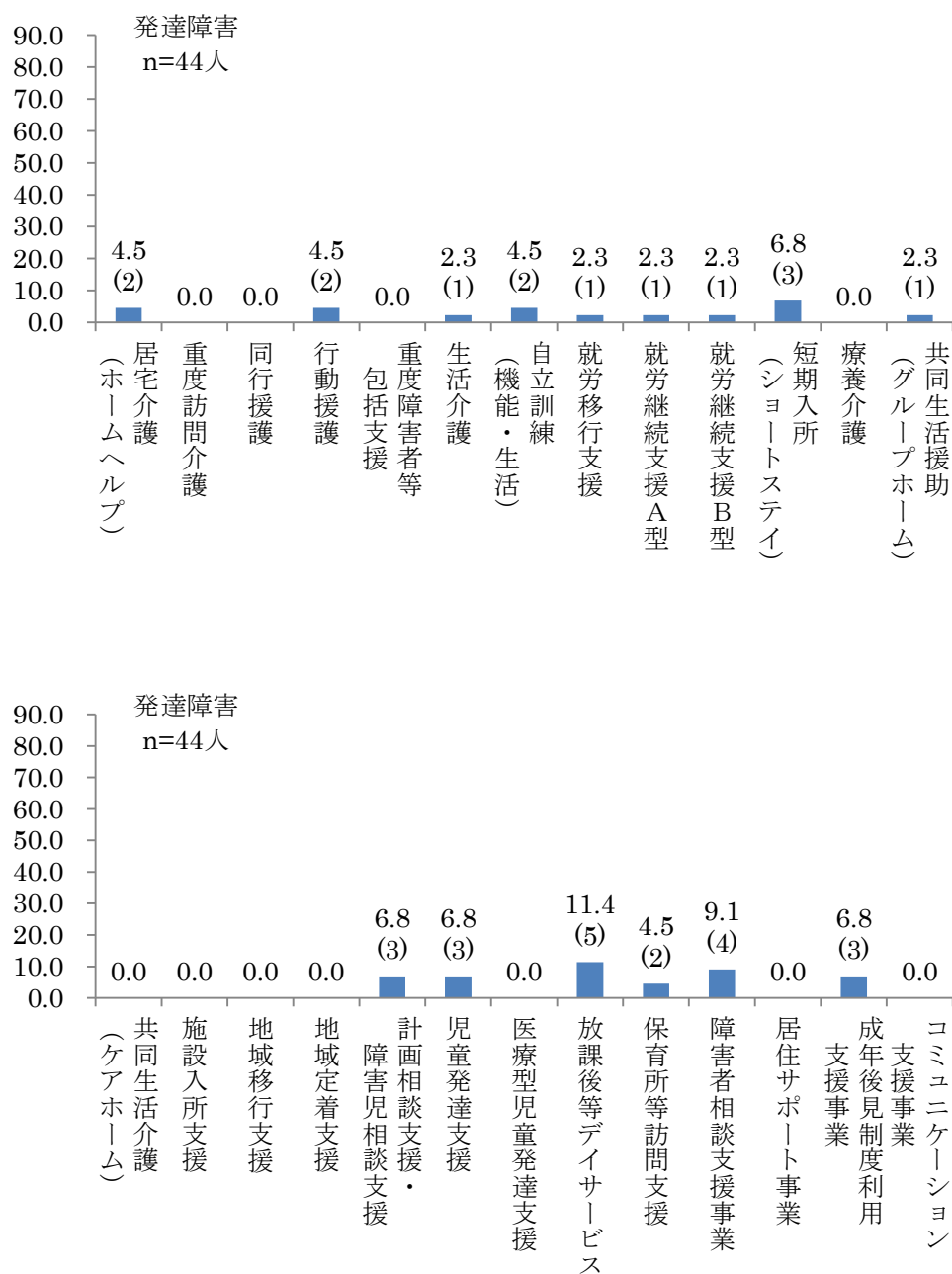


図6. 35. B 利用している、利用したい障害福祉サービス

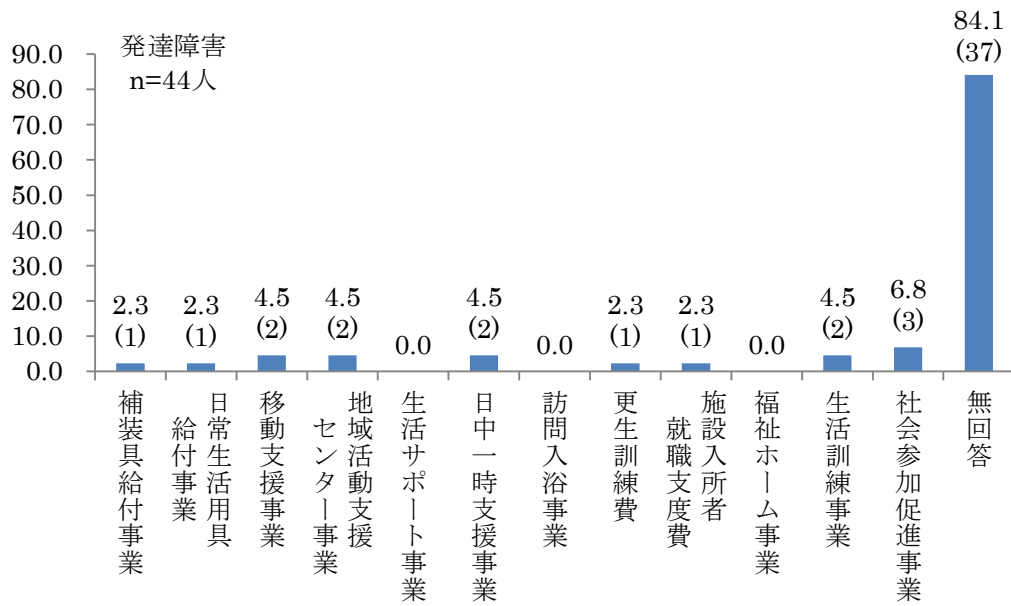


図 6. 35. a 居宅介護(ホームヘルプ)利用希望回数 (/週) 図 6. 35. b 居宅介護(ホームヘルプ)利用希望時間 (/回)

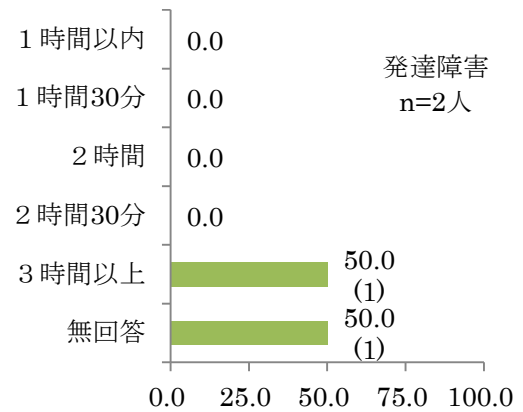
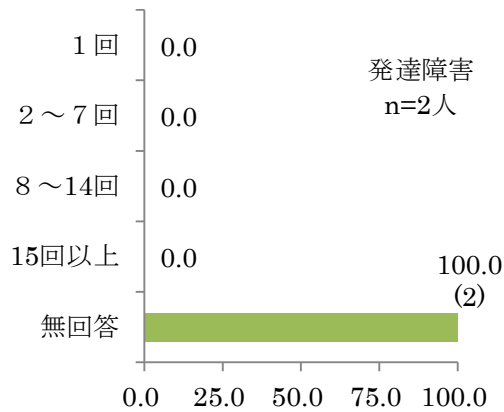


図6. 35. c 重度訪問介護利用希望日数 (/月)

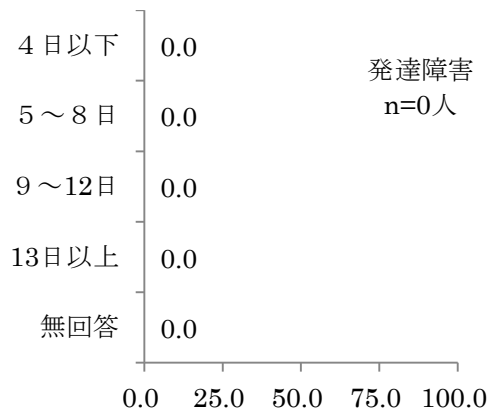


図6. 35. d 同行援護利用希望日数 (/月)

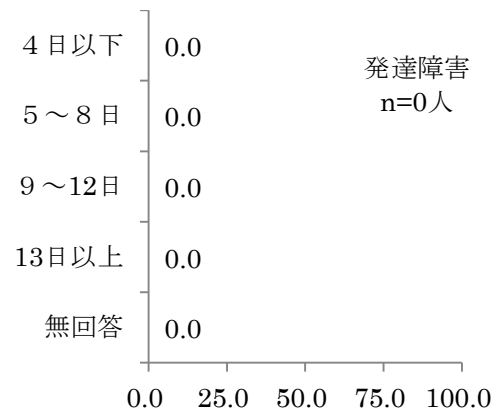


図6. 35. e 行動援護利用希望日数 (/月)

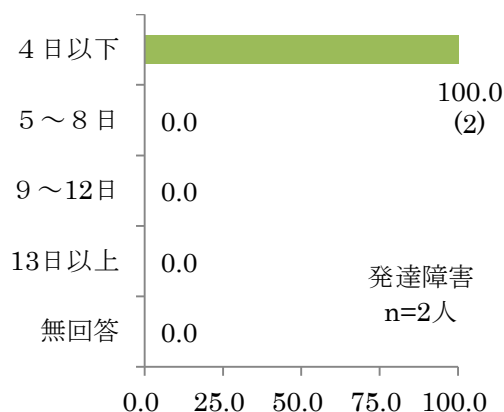


図6. 35. f 就労移行支援利用希望日数 (/月)

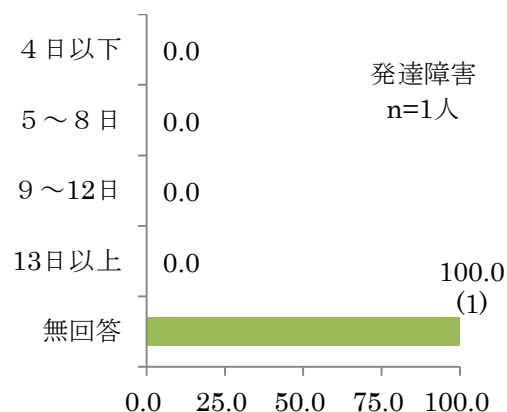


図6. 35. g 就労継続支援(A型)利用希望日数 (/月)

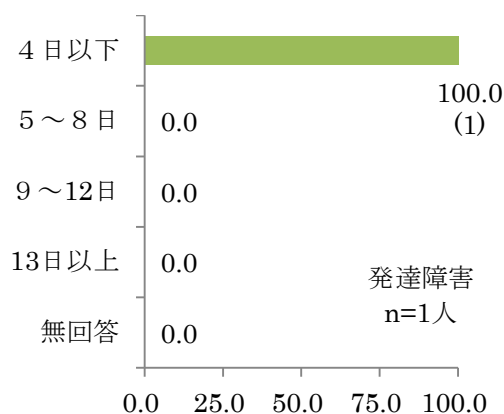


図6. 35. h 就労継続支援(B型)利用希望日数 (/月)

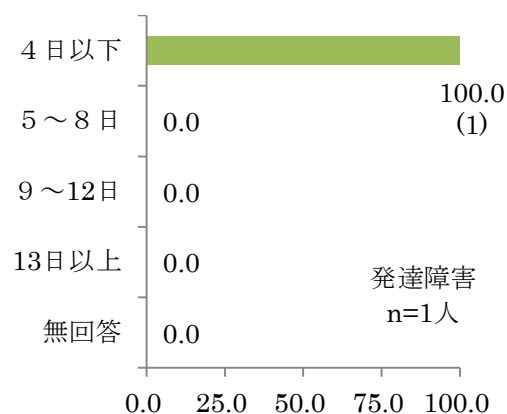


図6. 35. i 短期入所(ショートステイ)利用希望日数 (/月)

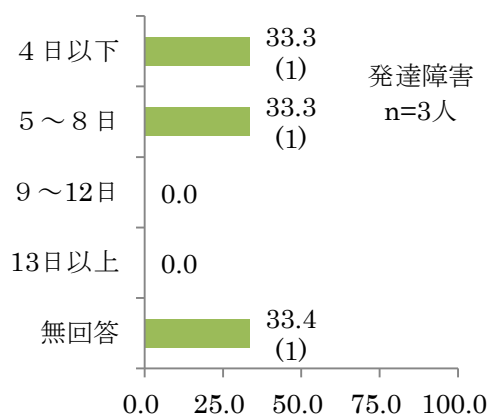


図6. 35. j 児童発達支援利用希望日数 (/月)

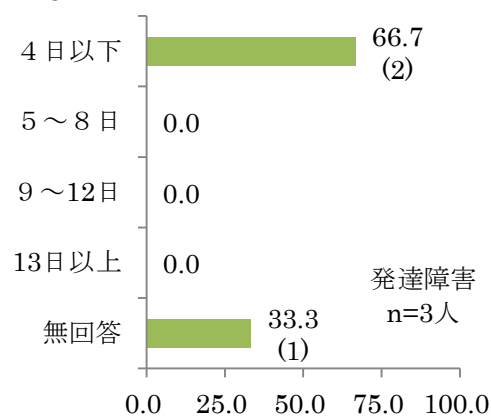


図6. 35. k 医療型児童発達支援利用希望日数(/月)

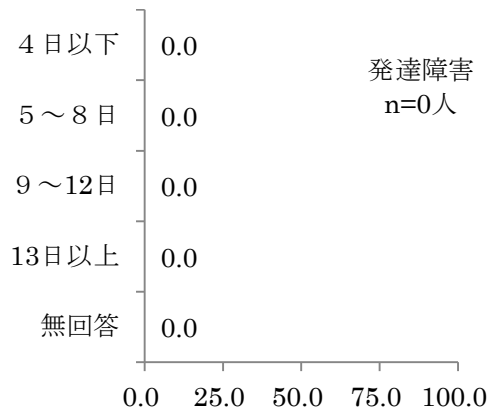


図6. 35. l 放課後等デイサービス利用希望日数(/月)

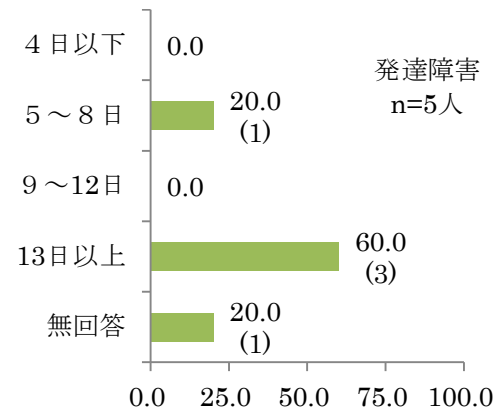


図6. 35. m 保育所等訪問支援利用希望回数(/月)

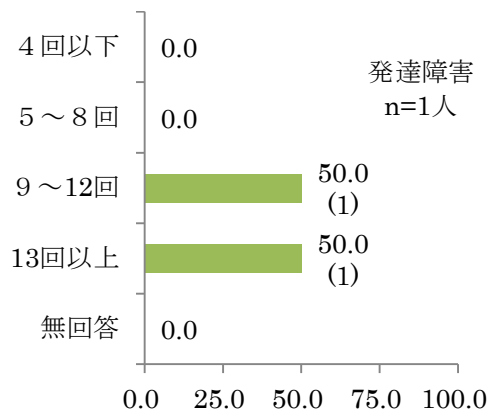


図6. 35. n コミュニケーション支援事業利用希望日数(/年)

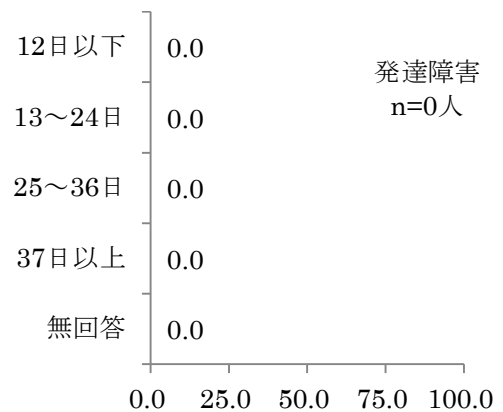


図6. 35. o 移動支援事業利用希望時間(/月)

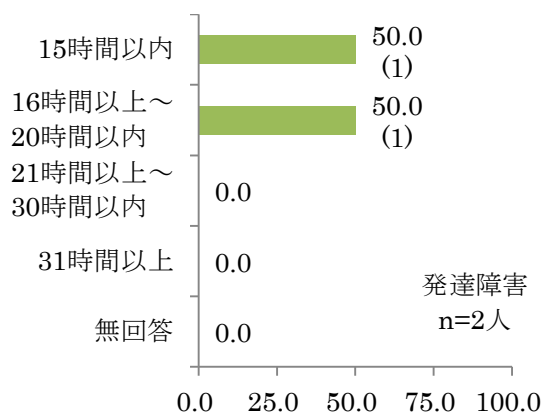


図6. 35. p 地域活動支援センター事業利用希望日数(/週)

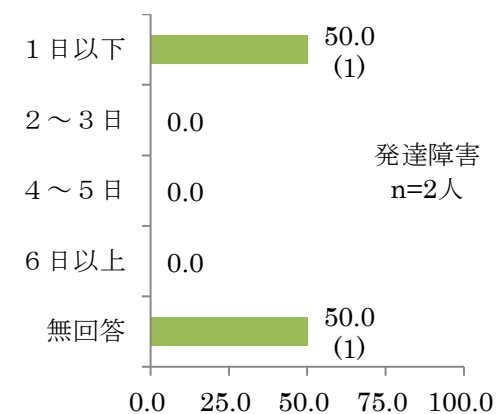


図6. 35. q 日中一時支援事業利用希望日数(/月)

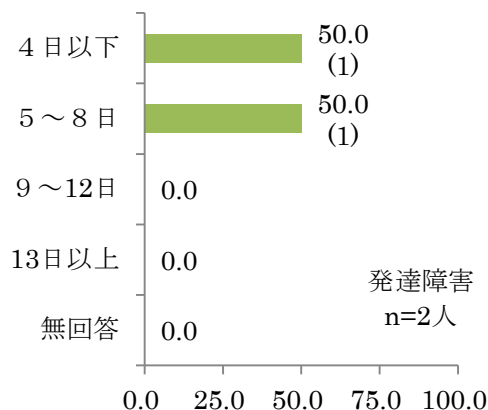
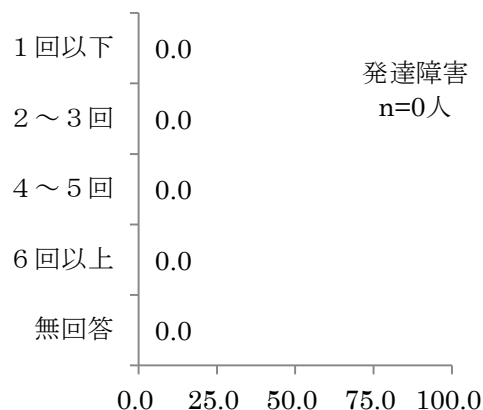


図6. 35. r 訪問入浴事業利用希望回数(/週)

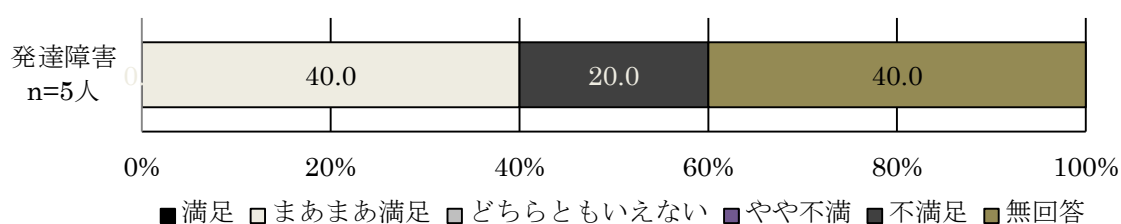


問 36 問 35 で「利用している」と回答された方にお聞きします。

福祉サービスに関する満足度はどれですか。(○は 1 つだけ)

障害福祉サービスなどに関する満足度では、「まあまあ満足」が40.0%、「不満足」が20.0%となっています。

図6. 36 障害福祉サービスなどに関する満足度

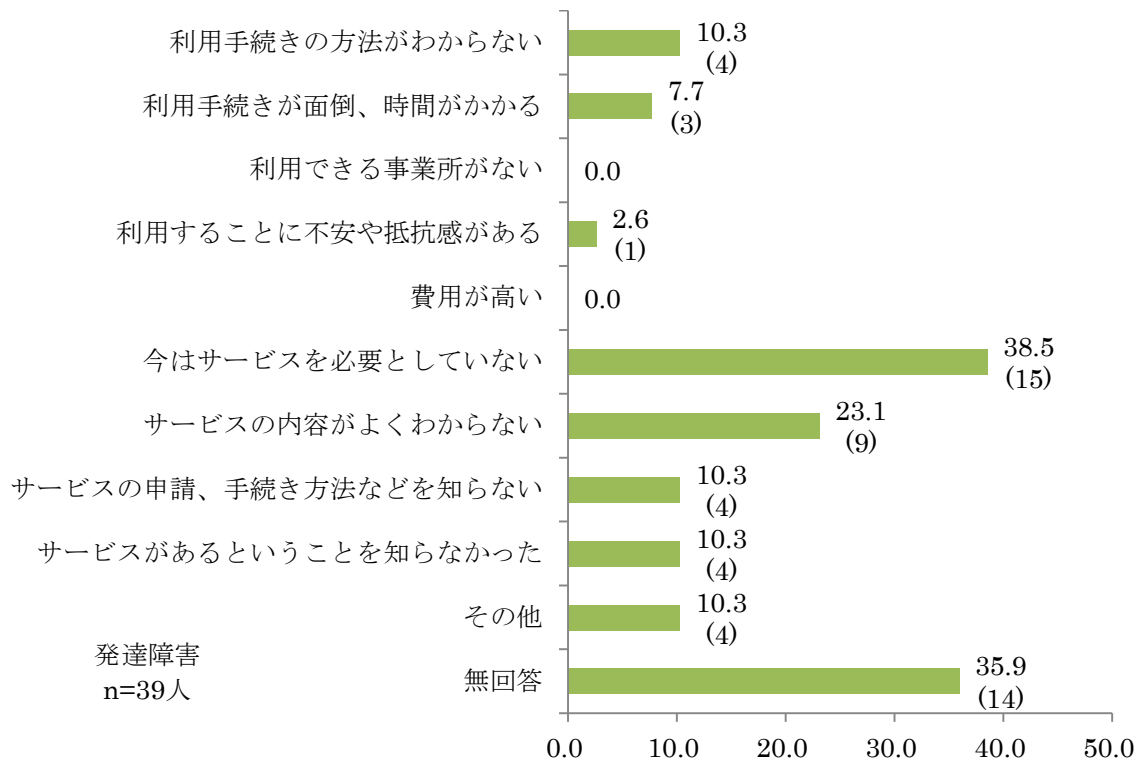


問 37 問 35 で「利用していない」と回答された方にお聞きします。

福祉サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

福祉サービスを利用していない理由では、「今はサービスを必要としていない」が38.5%、「サービスの内容がよくわからない」が23.1%、「利用手続きの方法がわからない」「サービスの申請、手続き方法などを知らない」「サービスがあるということを知らなかった」が各10.3%となっています。

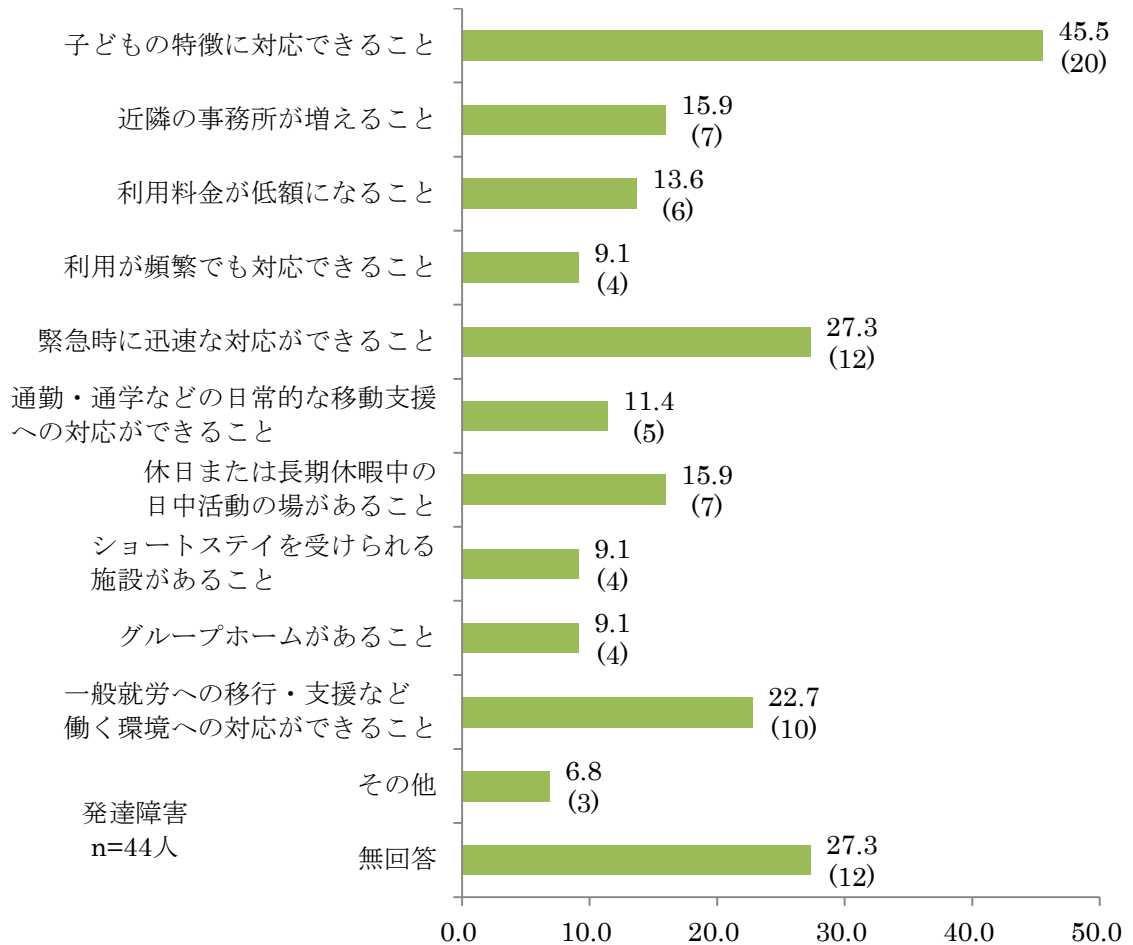
図6.37 福祉サービスを利用していない理由



問 38 今後利用するにあたり、福祉サービスに関する要望は何ですか。(〇は3つまで)

福祉サービスに関する要望では、「子どもの特徴に対応できること」が45.5%、「緊急時に迅速な対応ができること」が27.3%、「一般就労への移行・支援など働く環境への対応ができること」が22.7%、「近隣の事務所が増えること」「休日または長期休暇中の日中活動の場があること」が各15.9%、「利用料金が低額になること」が13.6%となっています。

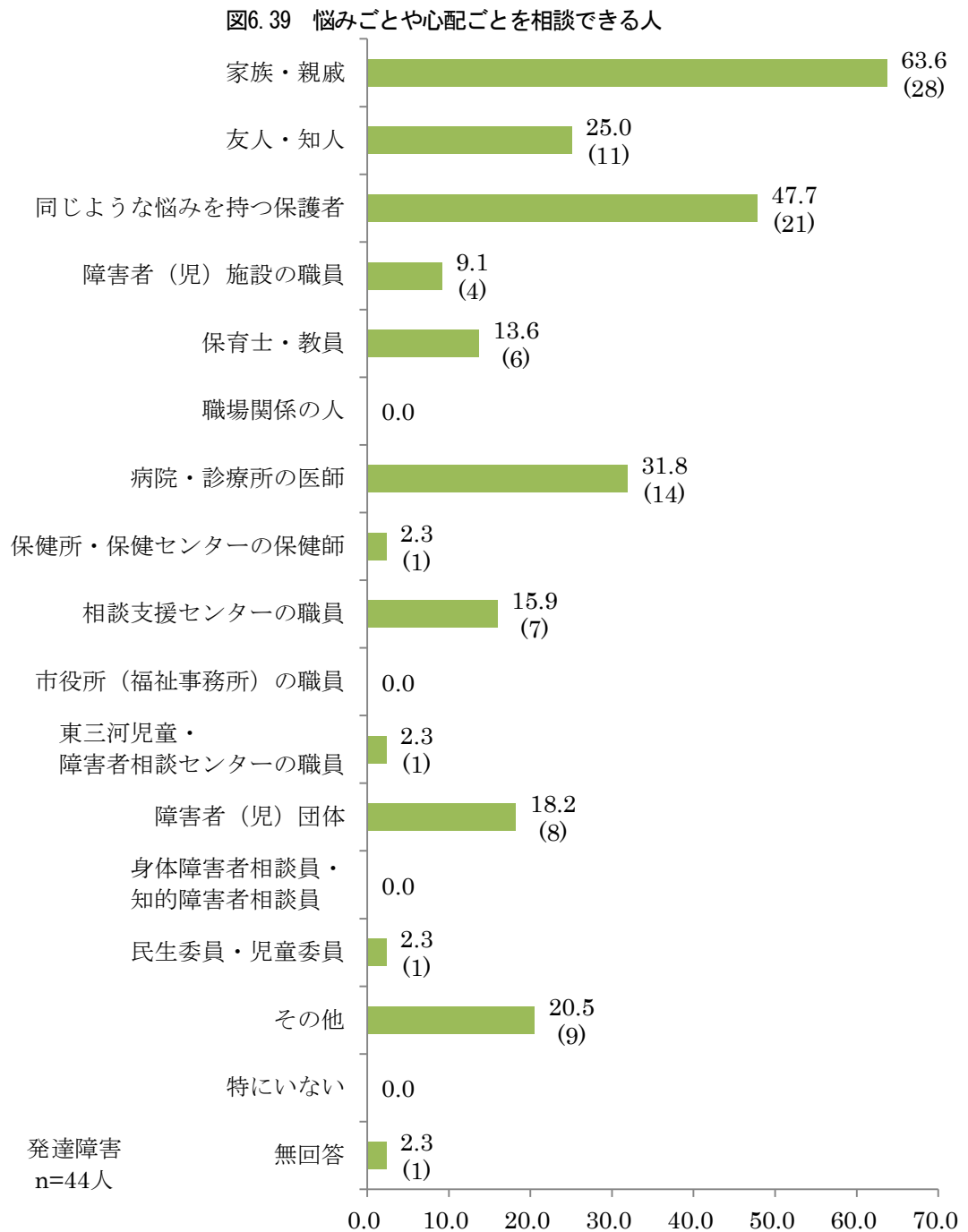
図6.38 障害福祉サービスなどに関する要望



4 相談ごとについて

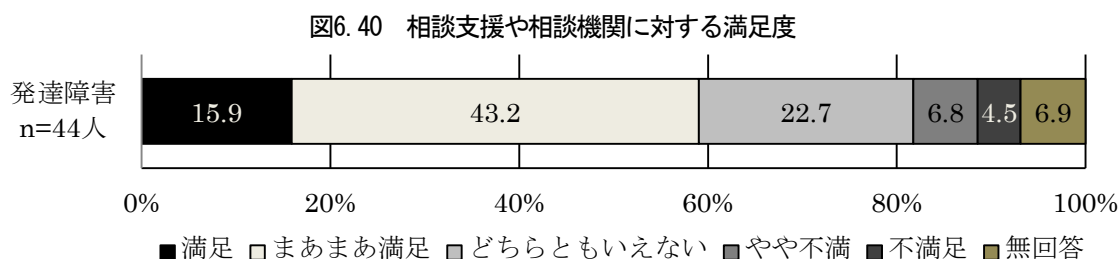
問 39 悩みごとや心配ごとを相談できる人がいますか。（あてはまるものすべてに○）

悩みごとや心配ごとを相談できる人では、「家族・親戚」が63.6%、「同じような悩みを持つ保護者」が47.7%、「病院・診療所の医師」が31.8%、「友人・知人」が25.0%、「障害者（児）団体」が18.2%となっています。



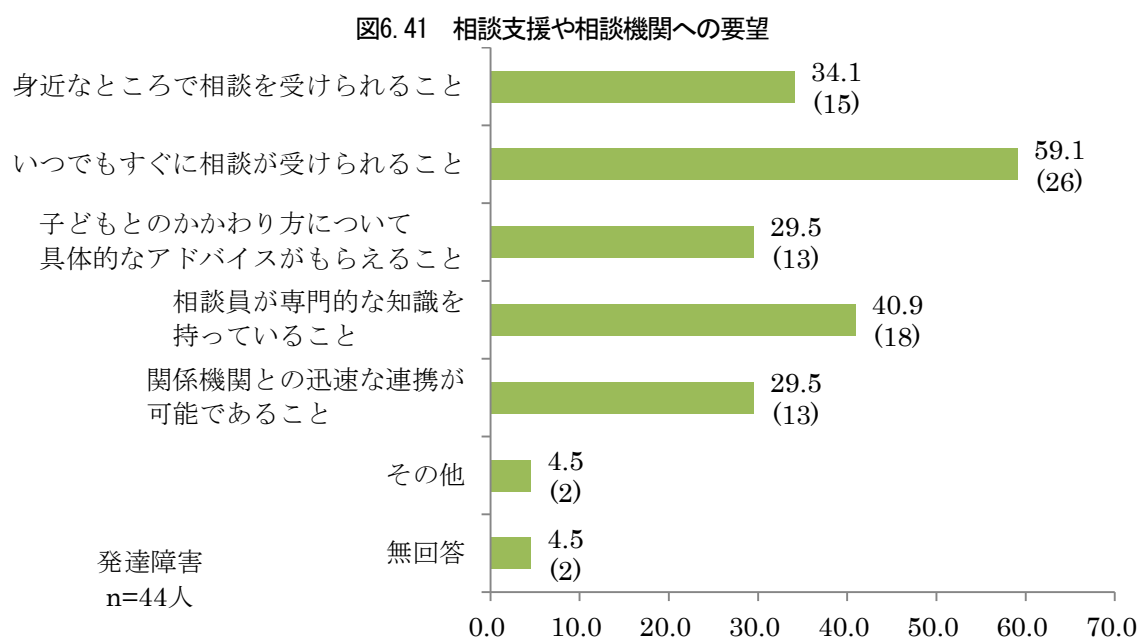
問 40 相談支援や相談機関に対する満足度はどれですか。(○は1つだけ)

相談支援や相談機関に対する満足度では、「まあまあ満足」が43.2%、「どちらともいえない」が22.7%、「満足」が15.9%となっています。



問 41 相談支援や相談機関への要望は何ですか。(○は3つまで)

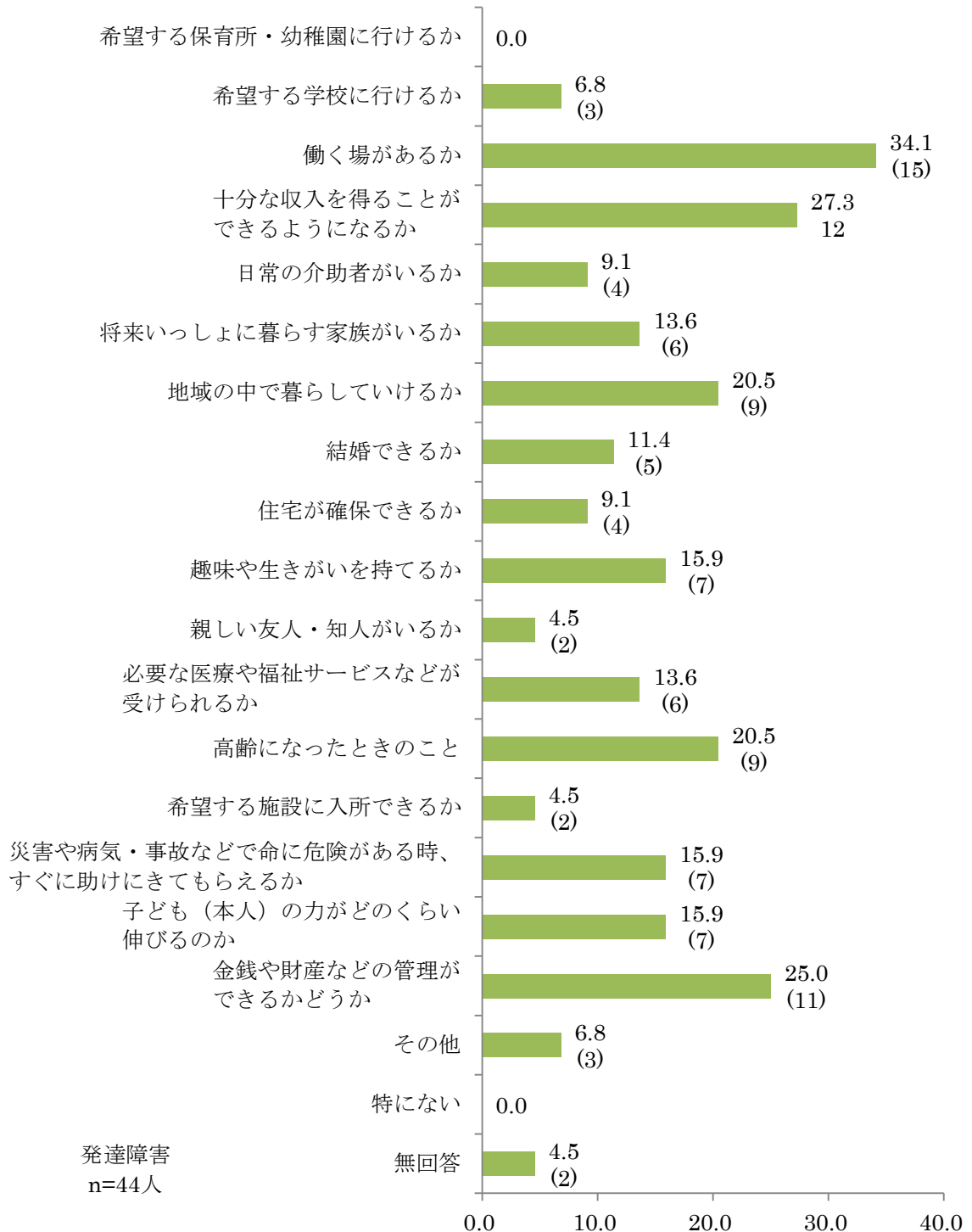
相談支援や相談機関への要望では、「いつでもすぐに相談が受けられること」が59.1%、「相談員が専門的な知識を持っていること」が40.9%、「身近なところで相談を受けられること」が34.1%、「子どもとのかかわり方について具体的なアドバイスがもらえること」「関係機関との迅速な連携が可能であること」が各29.5%となっています。



問 42 将来のことで、特に不安に感じていることは何ですか。(〇は3つまで)

将来の不安では、「働く場があるか」が34.1%、「十分な収入を得ることができるようになるか」が27.3%、「金銭や財産などの管理ができるかどうか」が25.0%、「地域の中で暮らしていけるか」「高齢になったときのこと」が各20.5%、「趣味や生きがいを持てるか」「災害や病気・事故などで命に危険がある時、すぐに助けにきてもらえるか」「子ども（本人）の力がどのくらい伸びるのか」が各15.9%となっています。

図6.42 不安に感じること

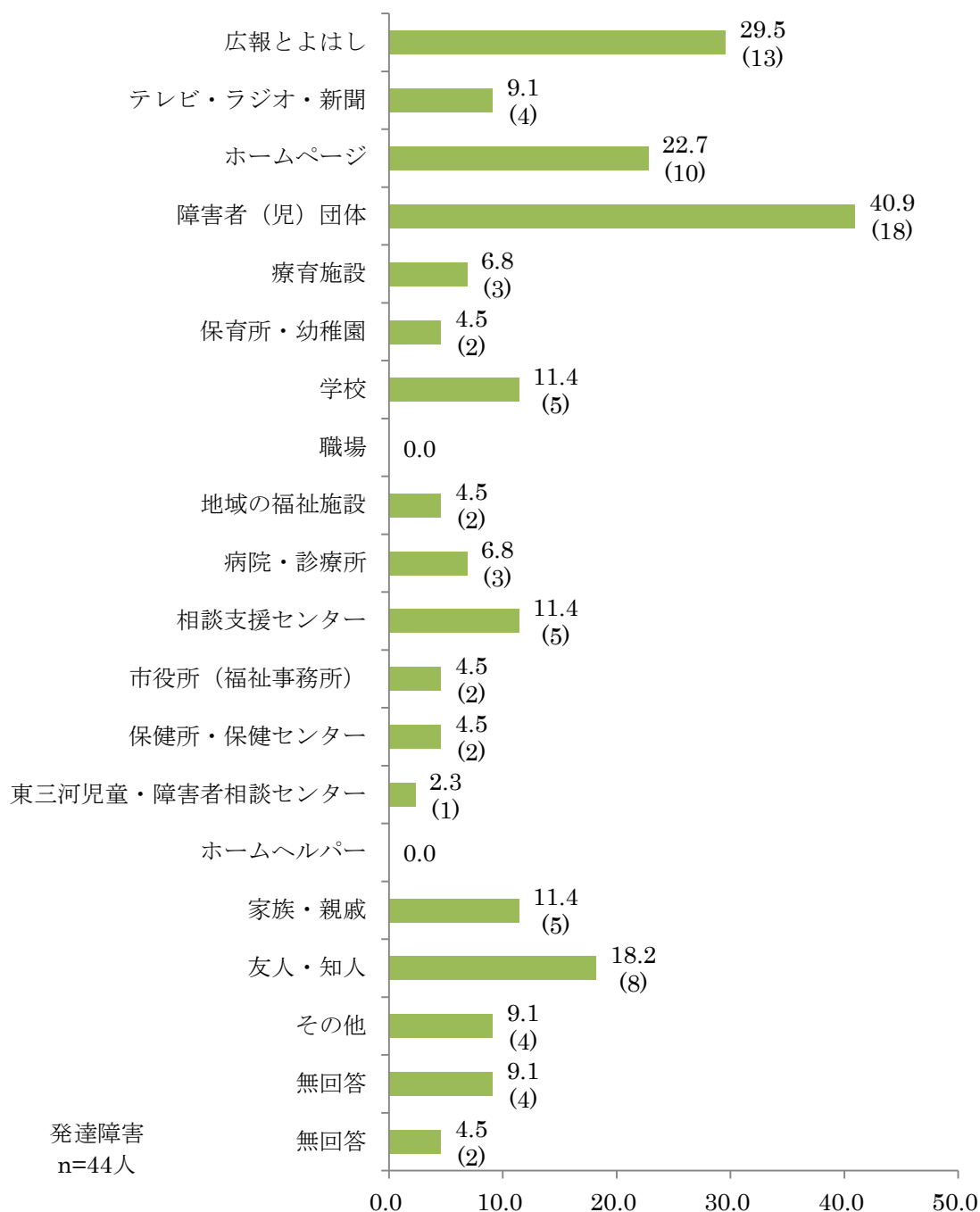


5 情報収集について

問 43 福祉サービスなどの情報を、主にどこから入手していますか。(〇は3つまで)

福祉サービス情報の入手先では、「障害者(児)団体」が40.9%、「広報とよはし」が29.5%、「ホームページ」が22.7%、「友人・知人」が18.2%、「学校」「相談支援センター」「家族・親戚」が各11.4%となっています。

図6.43 福祉サービス情報の入手先

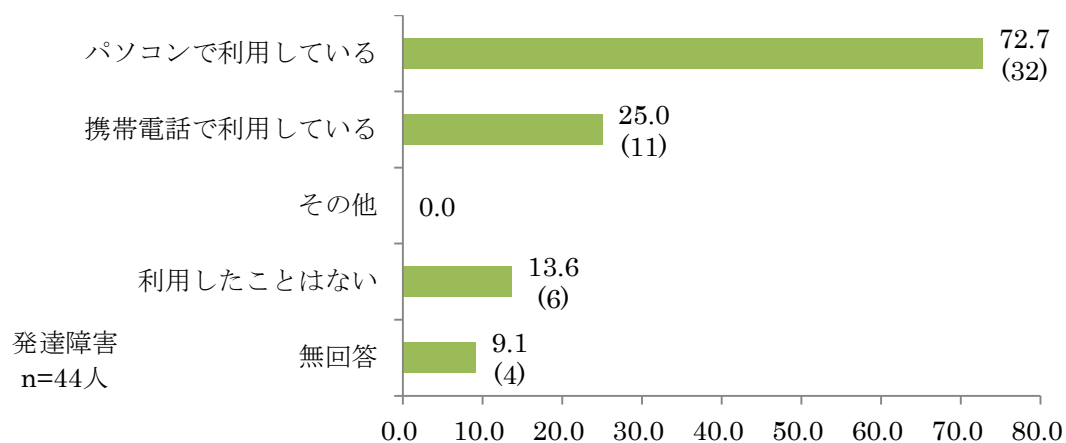


問 44 あなたは、家庭や職場などでインターネットを利用することがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

インターネットの利用の有無では、「パソコンで利用している」が72.7%、「携帯電話で利用している」が25.0%、「利用したことはない」が13.6%となっています。

図6.44 インターネットの利用の有無

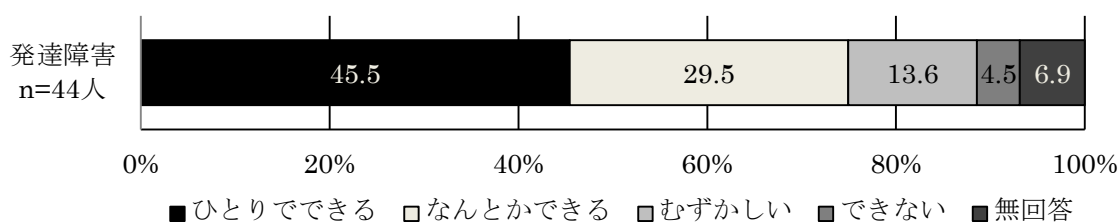


6 コミュニケーションについて

問 45 日常のコミュニケーションはひとりでできますか。(〇は1つだけ)

日常のコミュニケーションはひとりでできるかでは、「ひとりでできる」が45.5%、「なんとかできる」が29.5%、「むずかしい」が13.6%、「できない」が4.5%となっています。

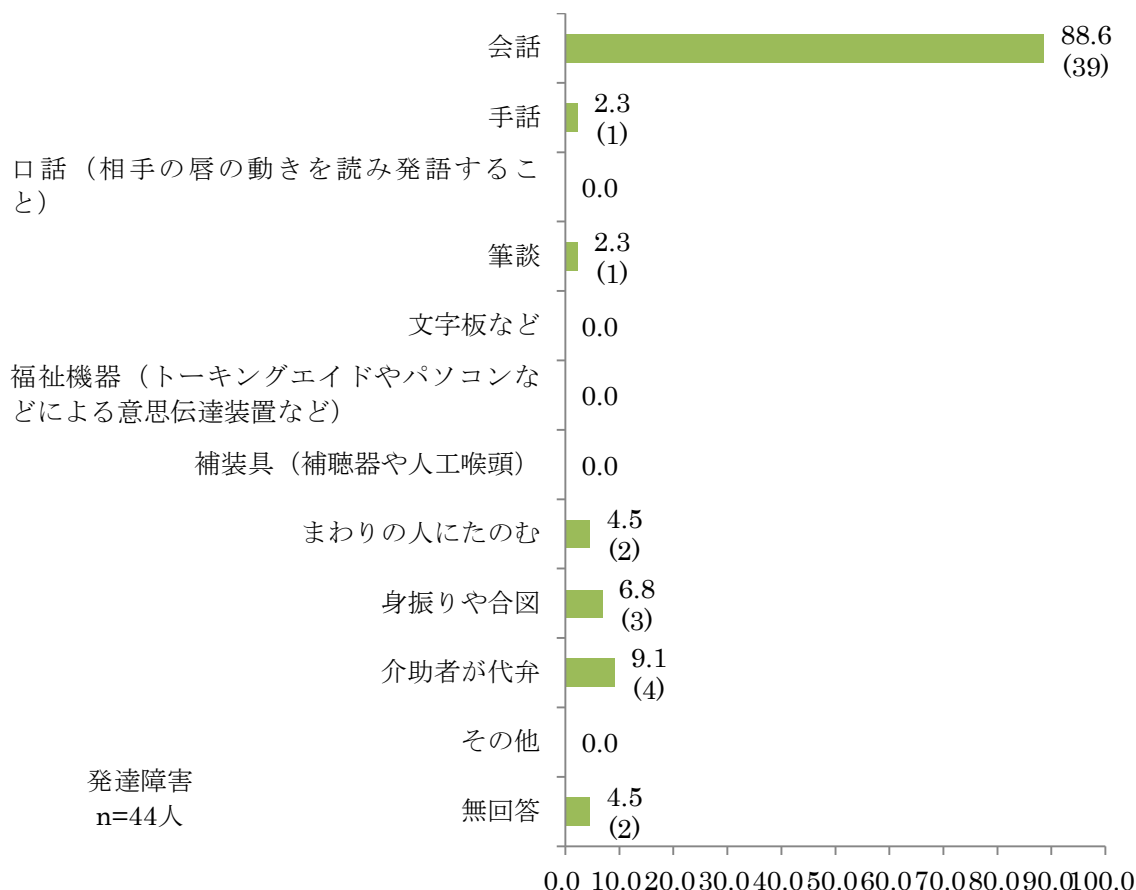
図6.45 日常のコミュニケーションはひとりでできるか



問 46 あなたは自分の思っていることを相手に伝えたり、相手の思っていることを理解するとき、どのような手段を使いますか。(あてはまるものすべてに〇)

コミュニケーションの手段では、「会話」が88.6%、「介助者が代弁」が9.1%、「身振りや合図」が6.8%、「まわりの人にたのむ」が4.5%、「手話」「筆談」が2.3%となっています。

図6.46 コミュニケーションの手段



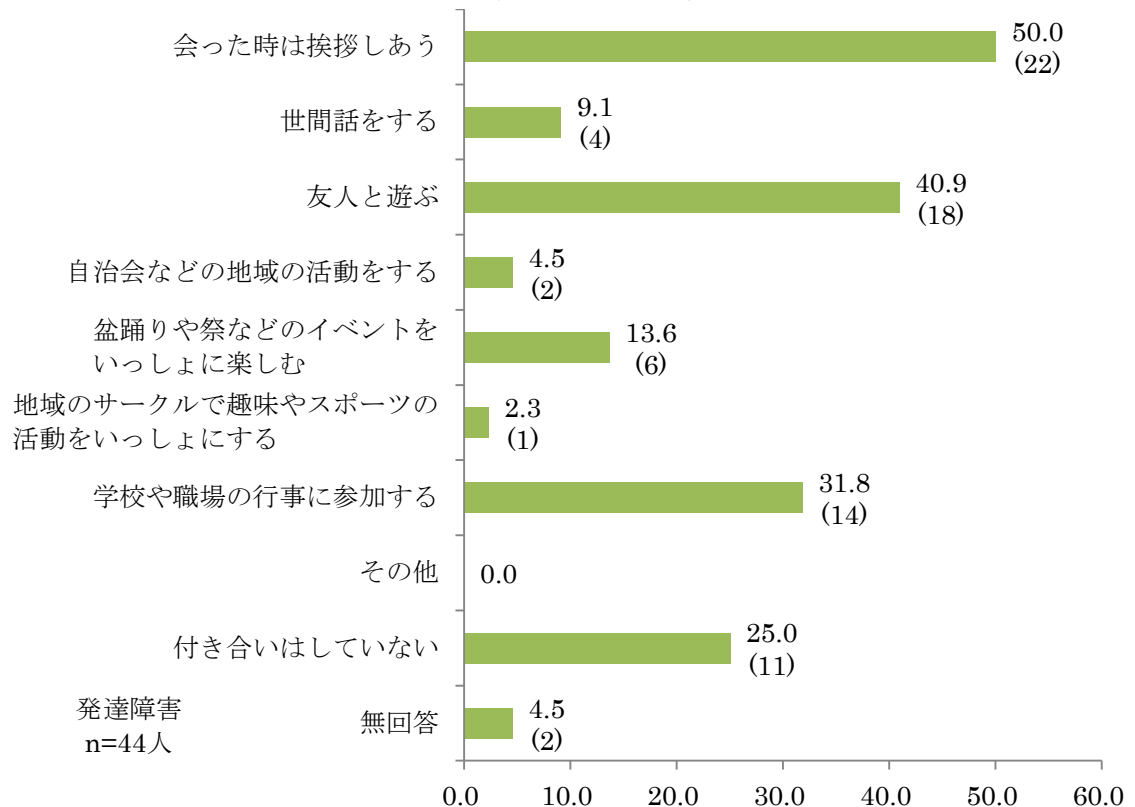
7 地域とのかかわりなどについて

問 47 あなたは、普段、地域の方とどのようなお付き合いをしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

地域の方とお付き合いでは、「会った時は挨拶しあう」が50.0%、「友人と遊ぶ」が40.9%、「学校や職場の行事に参加する」が31.8%、「付き合いはしていない」が25.0%、「盆踊りや祭などのイベントをいっしょに楽しむ」が13.6%となっています。

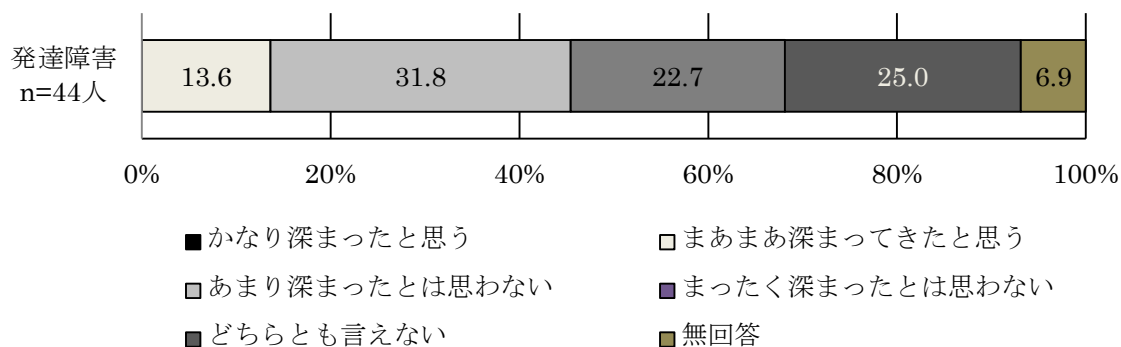
図6.47 地域の方とお付き合い



問 48 障害者に対する市民の理解についてどのように感じていますか。(〇は1つだけ)

障害者に対する市民の理解では、「あまり深まったとは思わない」が31.8%、「どちらとも言えない」が25.0%、「まったく深まったとは思わない」が22.7%、「まあまあ深まったとは思わない」が13.6%となっています。

図6.48 障害者に対する市民の理解

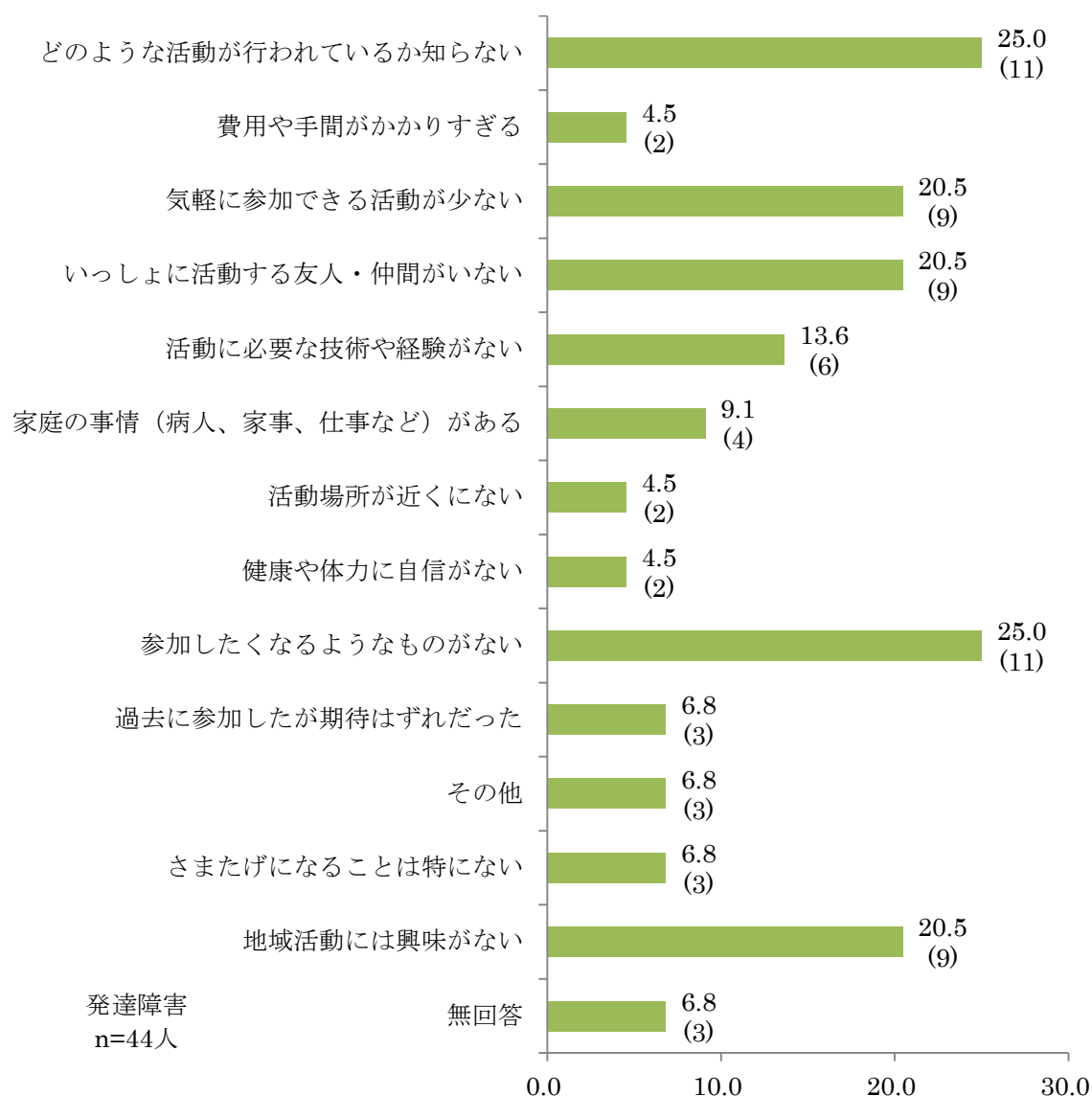


問 49 あなたが地域活動に参加しようとした場合、その妨げとなることは何ですか。

(○は3つまで)

地域活動に参加しようとした場合、その妨げとなることでは、「どのような活動が行われているか知らない」「参加したくなるようなものがない」が各25.0%、「気軽に参加できる活動が少ない」「いっしょに活動する友人・仲間がいない」「地域活動には興味がない」が各20.5%、「活動に必要な技術や経験がない」が13.6%、「家庭の事情（病人、家事、仕事など）がある」が9.1%、「過去に参加したが期待はずれだった」「さまたげになることは特にない」が各6.8%となっています。

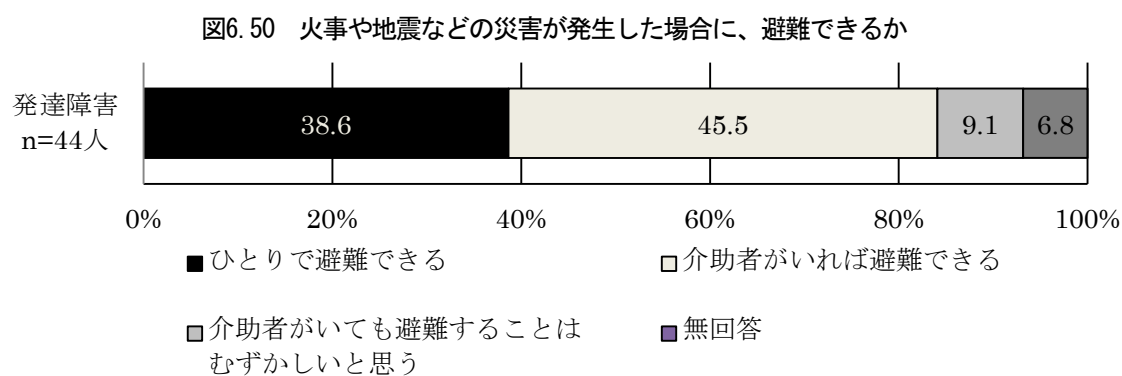
図6.49 地域活動に参加しようとした場合、その妨げとなること



8 災害時のことについて

問 50 あなたは火事や地震などの災害が発生した場合に、避難できますか。(○は1つだけ)

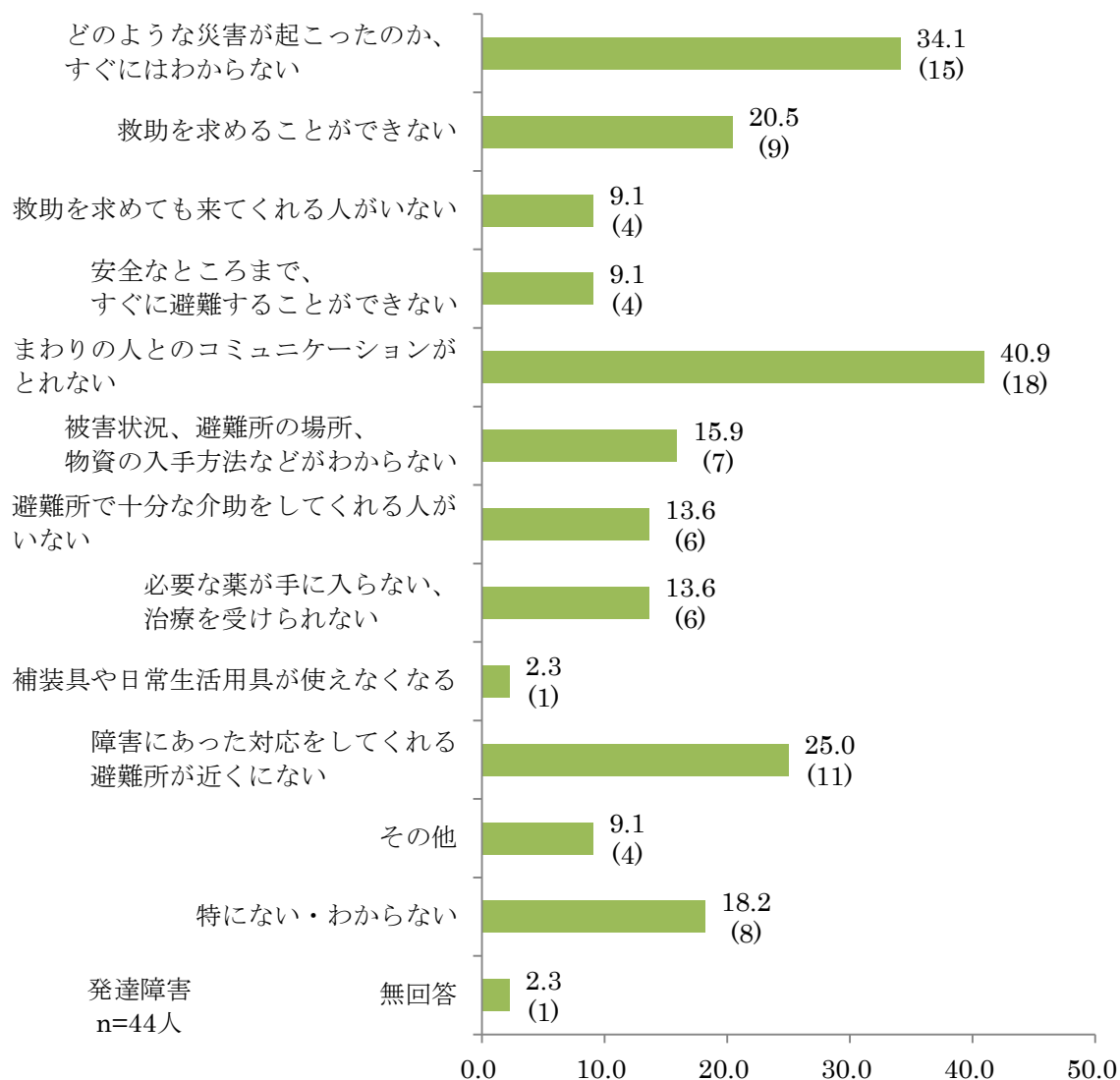
火事や地震などの災害が発生した場合に、避難できるかでは、「介助者がいれば避難できる」が45.5%、「ひとりで避難できる」が38.6%、「介助者がいても避難することはむずかしいと思う」が9.1%となっています。



問 51 地震や台風などの災害時に、特に困ると思われることは何ですか。(〇は3つまで)

地震や台風などの災害時に、特に困ると思われることでは、「まわりの人とのコミュニケーションがとれない」が40.9%、「どのような災害が起こったのか、すぐにはわからない」が34.1%、「障害にあった対応をしてくれる避難所が近くにない」が25.0%、「救助を求めることができない」が20.5%、「特にない・わからない」が18.2%となっています。

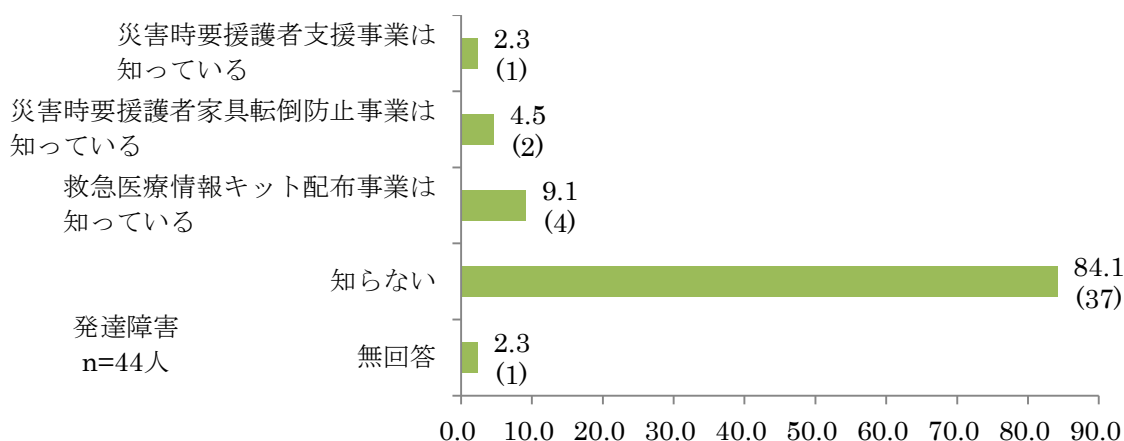
図6.51 地震や台風などの災害時に、特に困ると思われること



問 52 災害時要援護者支援事業や災害時要援護者家具転倒防止事業や救急医療情報キット配布事業を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

災害時要援護者支援事業や災害時要援護者家具転倒防止事業や救急医療情報キット配布事業を知っているかでは、「知らない」が84.1%となっています。

図6.52 災害時要援護者支援事業や災害時要援護者家具転倒防止事業や救急医療情報キット配布事業を知っているか

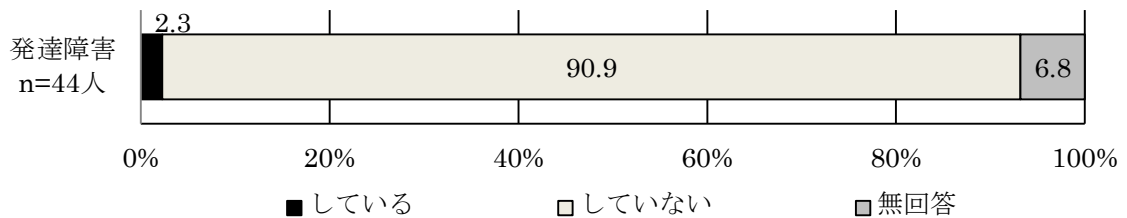


- ※ 災害時要援護者支援事業は、障害者手帳をお持ちの方でひとり暮らし又は同居者が高齢者のみの世帯の場合（ともに日中・夜間に同居者が不在になり一人の状態になる方を含む）に、災害時要援護台帳に登録をいただき、近隣協力員や自主防災会などからの支援をいただくものです。
- ※ 災害時要援護者家具転倒防止事業は、身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A判定、精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方がいる世帯の居間などの家具に1世帯4点までの転倒防止器具を無料（1回限り）で取り付けるものです。
- ※ 救急医療情報キット配布事業は、障害者手帳所持者で高齢者のみの世帯や65歳未満の一人暮らしの方（ともに日中・夜間に同居者が不在になり一人の状態になる方を含む）、災害時要援護者台帳登録者の方に「かかりつけ医」「持病」「緊急連絡先」などの医療情報や保険証などのコピーを保管できるボトルを配布する事業で緊急時には救急隊員などが確認し素早く対応するためのものです。

問 53 災害時要援護者支援事業に登録をしていますか。(○は1つだけ)

災害時要援護者支援事業に登録をしているかでは、「していない」が90.9%となっています。

図6.53 災害時要援護者支援事業に登録をしているか

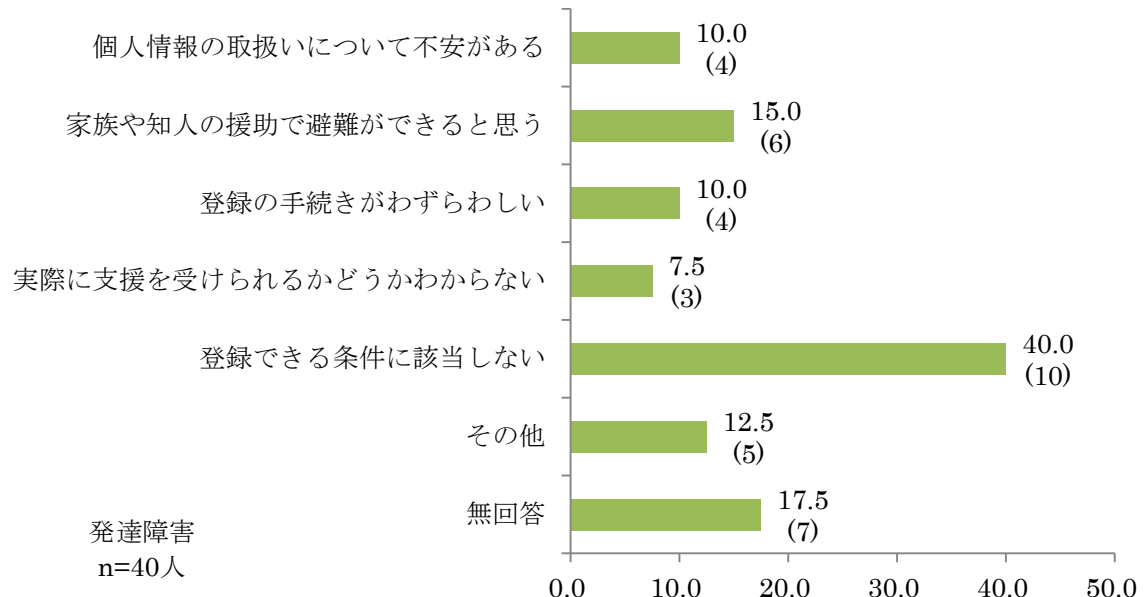


問 54 問 47 で「2」と回答された方にお聞きします。

災害時要援護者支援事業の登録をしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

災害時要援護者支援事業の登録をしない理由では、「登録できる条件に該当しない」が40.0%、「家族や知人の援助で避難ができると思う」が15.0%、「個人情報の取扱いについて不安がある」「登録の手続きがわずらわしい」が各10.0%となっています。

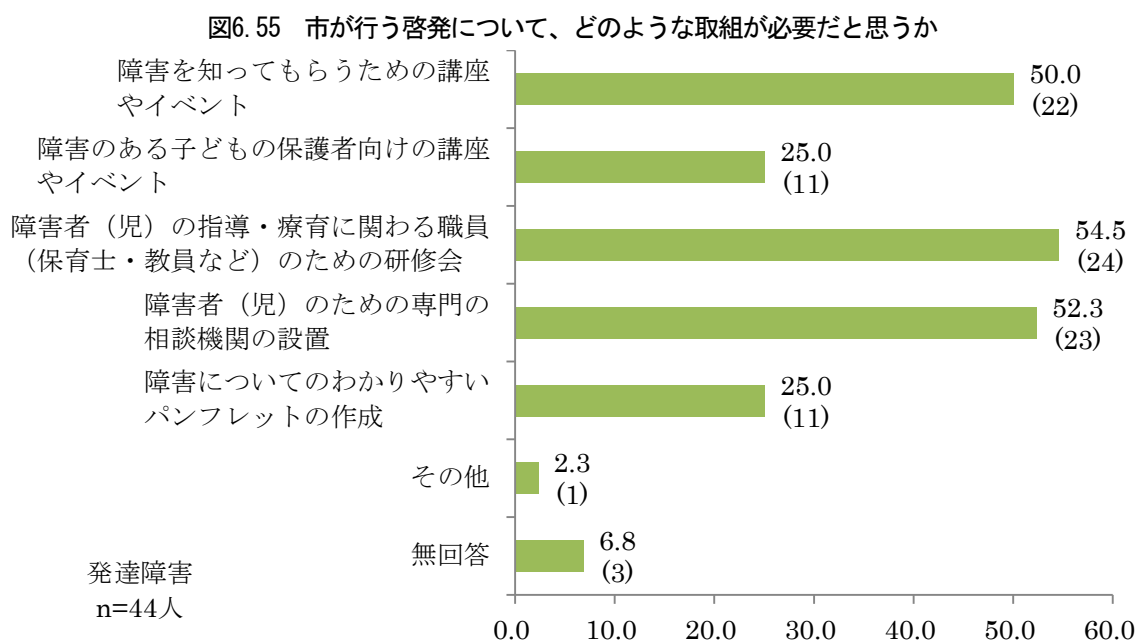
図6.54 災害時要援護者支援事業の登録をしない理由



9 その他

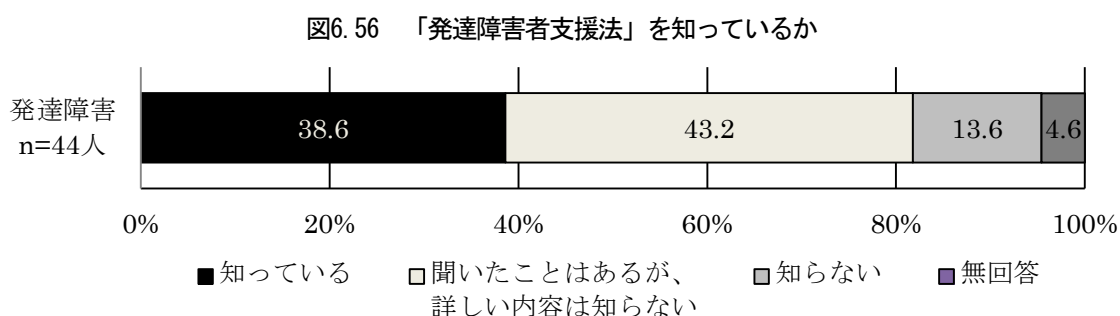
問 55 市が行う啓発について、どのような取組が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

市が行う啓発について、どのような取組が必要だと思うかでは、「障害者（児）の指導・療育に関わる職員のための研修会」が54.5%、「障害者（児）のための専門の相談機関の設置」が52.3%、「障害を知ってもらうための講座やイベント」が50.0%となっています。



問 56 平成 17 年 4 月に施行された「発達障害者支援法」を知っていますか。(〇は1つだけ)

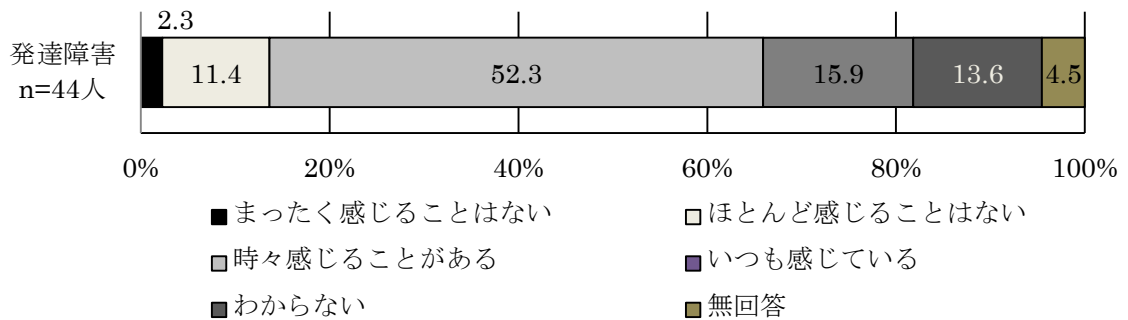
「発達障害者支援法」を知っているかでは、「聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない」が43.2%、「知っている」が38.6%、「知らない」が13.6%となっています。



問 57 障害があることで差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。(○は1つだけ)

障害があることで差別や人権侵害を受けていると感じていることがあるかでは、「時々感じることもある」が52.3%、「いつも感じている」が15.9%、「わからない」が13.6%、「ほとんど感じることはない」が11.4%、「まったく感じることはない」が2.3%となっています。

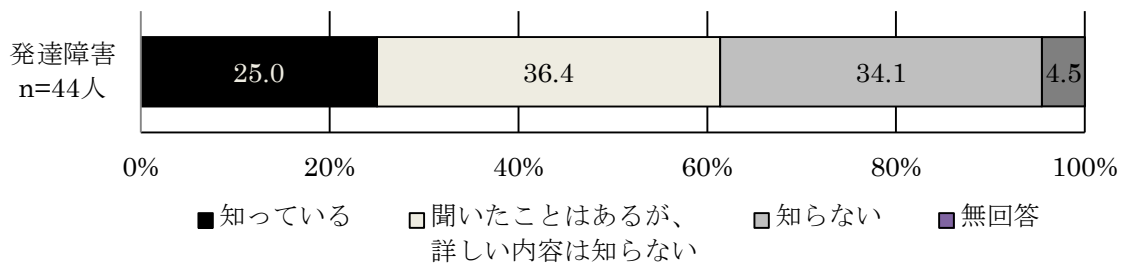
図6.57 障害があることで差別や人権侵害を受けていると感じていることがあるか



問 58 平成 24 年 10 月に施行された「障害者虐待防止法」を知っていますか。(○は1つだけ)

「障害者虐待防止法」を知っているかでは、「聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない」が36.4%、「知らない」が34.1%、「知っている」が25.0%となっています。

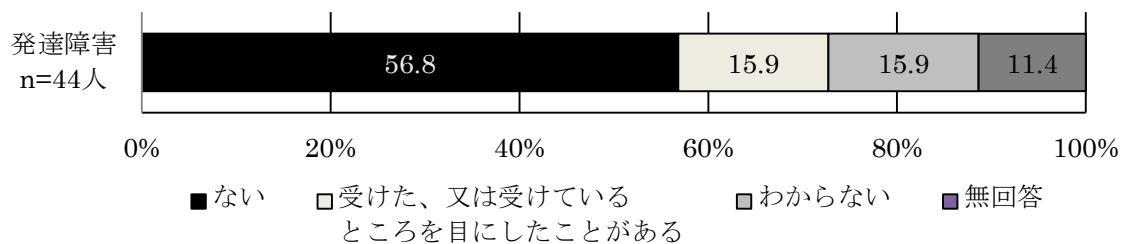
図6.58 「障害者虐待防止法」を知っているか



問 59 あなたは今までに虐待を受けた、又は受けているところを目にしたことがありますか。
(○は1つだけ)

虐待を受けた、又は受けているところを目にしたことがあるかでは、「ない」が56.8%、「受けた、又は受けているところを目にしたことがある」「わからない」が各15.9%となっています。

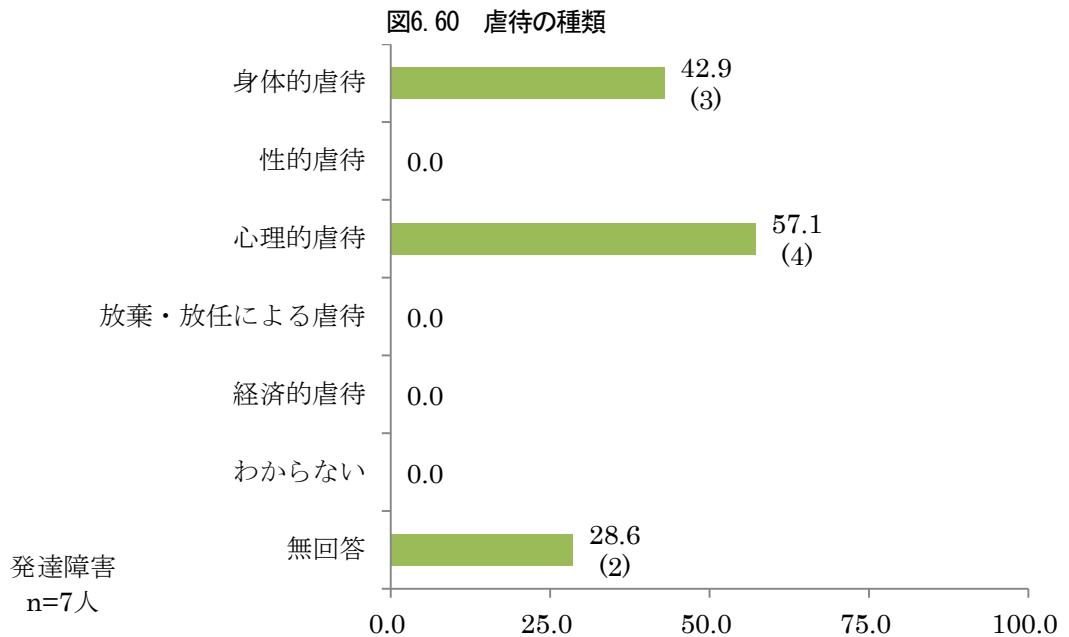
図6.59 虐待を受けた、又は受けているところを目にしたことがあるか



問 60 問 59 で「2」と回答された方にお聞きします。

それはどのような虐待ですか。(あてはまるものすべてに○)

虐待の種類では、「心理的虐待」が57.1%、「身体的虐待」が42.9%となっています。



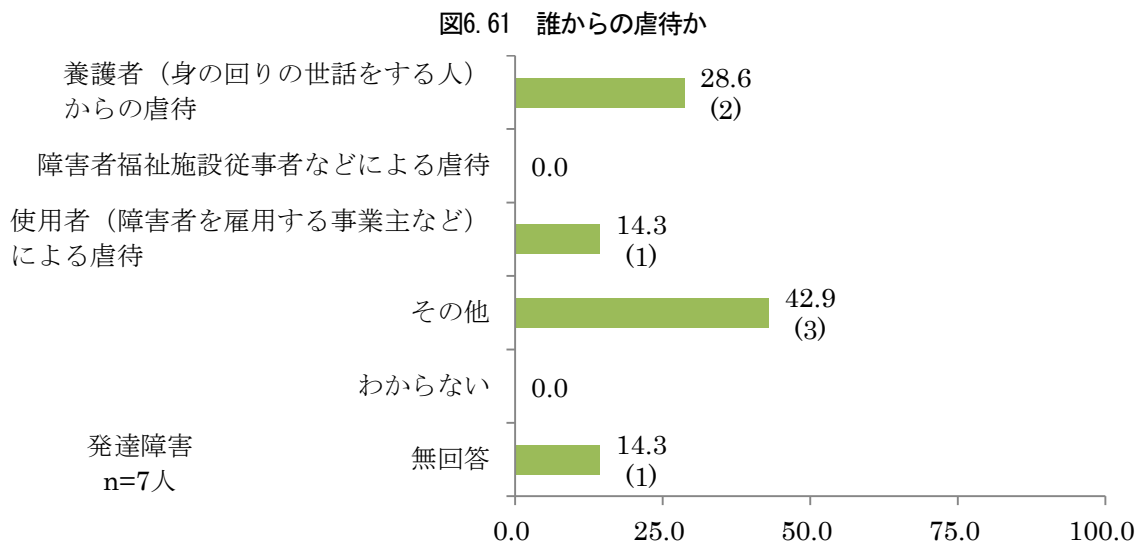
- ※ 身体的虐待：暴力や体罰などの痛みを与える行為、拘束や過剰な投薬などにより身体の動きを抑制する行為など
- ※ 性的虐待：性的な行為やその強要
- ※ 心理的虐待：脅しや侮辱などの言葉・態度・無視・嫌がらせなどにより精神的に苦痛を与えること
- ※ 放棄・放任による虐待：身の世話をしない、医療や教育などを受けさせないなど、生活環境や身体・精神的状態を悪化させること
- ※ 経済的虐待：本人の同意なしに財産や年金、賃金を勝手に使用したり、本人が希望する金銭の使用を正当な理由なく制限したりすること

問 61 問 59 で「2」と回答された方にお聞きします。

それは誰から受けた虐待、又は受けているところを見たものですか。

(あてはまるものすべてに○)

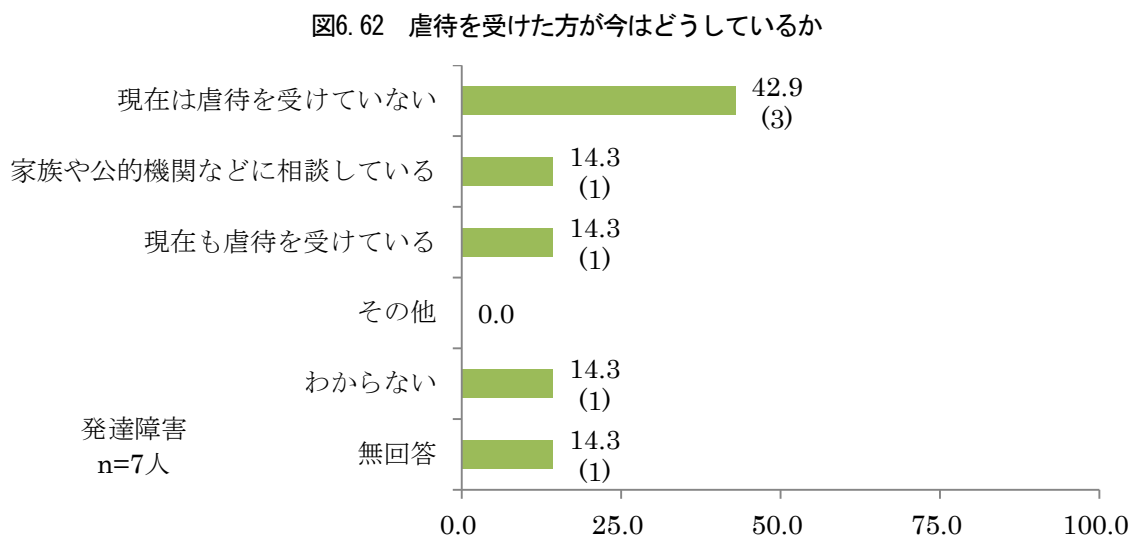
誰からの虐待かでは、「養護者からの虐待」が28.6%、「使用者による虐待」が14.3%となっています。



問 62 問 59 で「2」と回答された方にお聞きします。

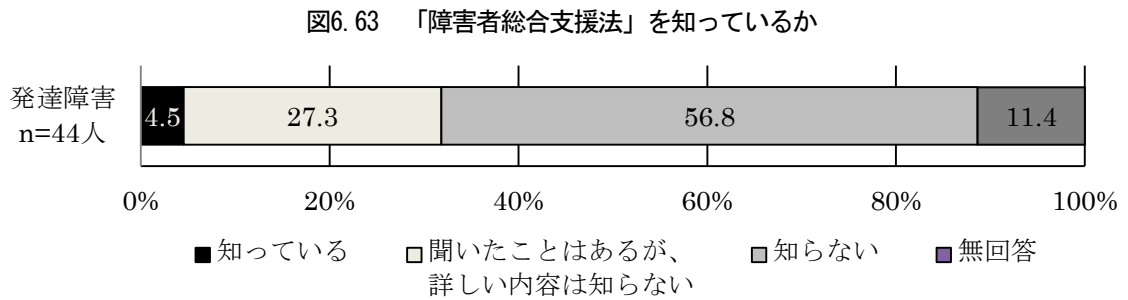
今はどうしていますか。(あてはまるものすべてに○)

虐待を受けた方が今はどうしているかでは、「現在は虐待を受けていない」が42.9%、「家族や公的機関などに相談している」「現在も虐待を受けている」が各14.3%となっています。



問 63 平成 25 年 4 月に施行される「障害者総合支援法」を知っていますか。(○は 1 つだけ)

「障害者総合支援法」を知っているかでは、「知らない」が56.8%、「聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない」が27.3%、「知っている」が4.5%となっています。

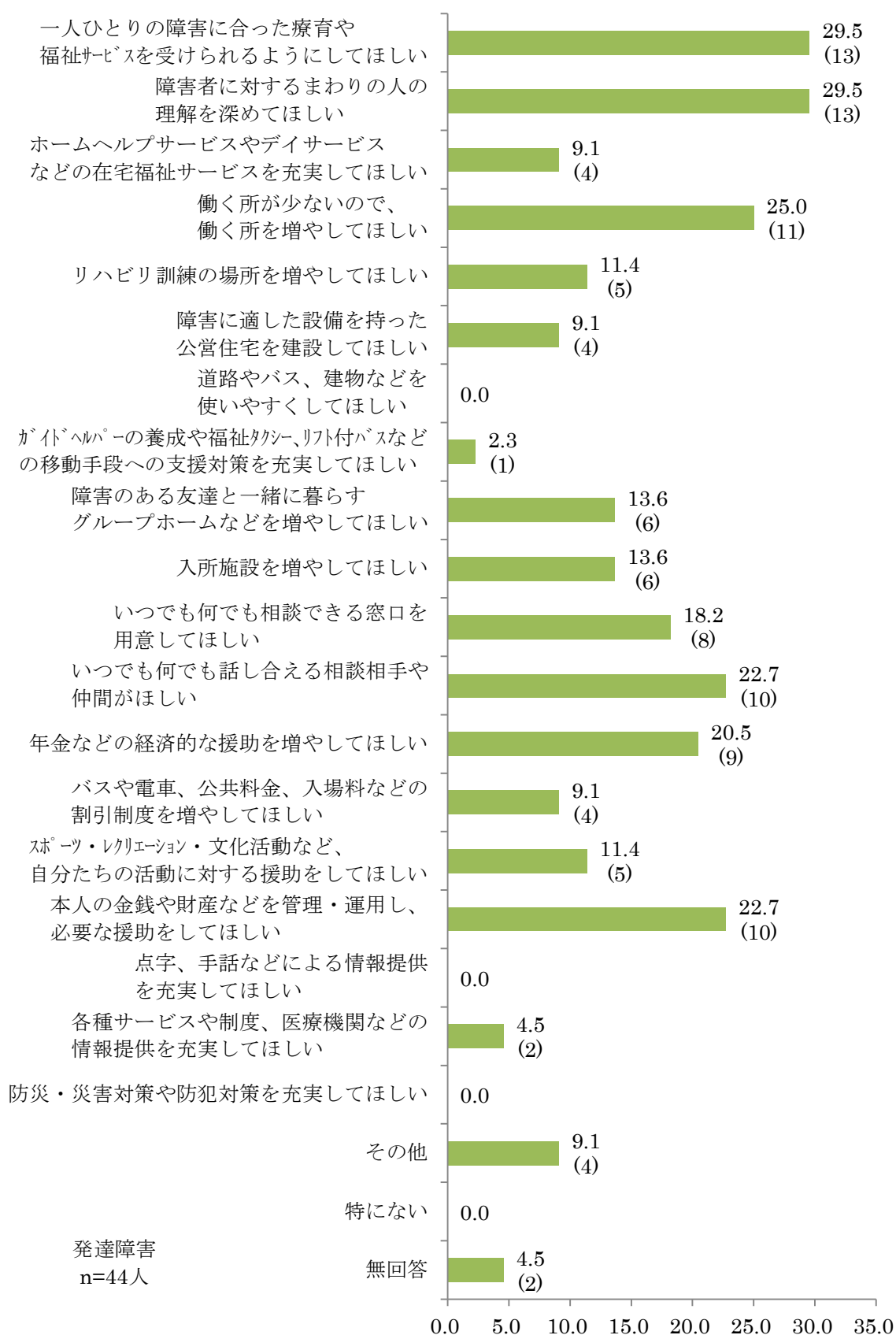


問 64 あなたが、暮らしやすくなるために、特にしてほしいことはどのようなことですか。

(○は3つまで)

暮らしやすくなるために、特にしてほしいことでは、「一人ひとりの障害に合った療育や福祉サービスを受けられるようにしてほしい」「障害者に対するまわりの人の理解を深めてほしい」が各29.5%、「働く所が少ないので、働く所を増やしてほしい」が25.0%、「いつでも何でも話し合える相談相手や仲間がほしい」「本人の金銭や財産などを管理・運用し、必要な援助をしてほしい」各22.7%、「年金などの経済的な援助を増やしてほしい」が20.5%、「いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい」が18.2%となっています。

図6.64 暮らしやすくなるために、特にしてほしいこと



問 65 このアンケートにご記入いただいたのはどなたですか。(〇は1つだけ)

アンケートの記入者では、「母親」が72.7%となっています。

